

142
360

正九年度

神奈川縣立原蠶種製造所事績報告 第六號



始



14¹-360¹
14²



大正十年八月

緒言

本報告ハ大正九年度本所ニ於テ施行シタル事績ノ概要ヲ收
セシモノナリ茲ニ之ヲ刊行シ斯業關係者ノ參考ニ資セン



神奈川縣立原蠶種製造所

神奈川県立原蠶種製造所



Vertical text block, possibly a preface or introductory text, written in a smaller font.



神奈川県立原蠶種製造所事績報告

目次

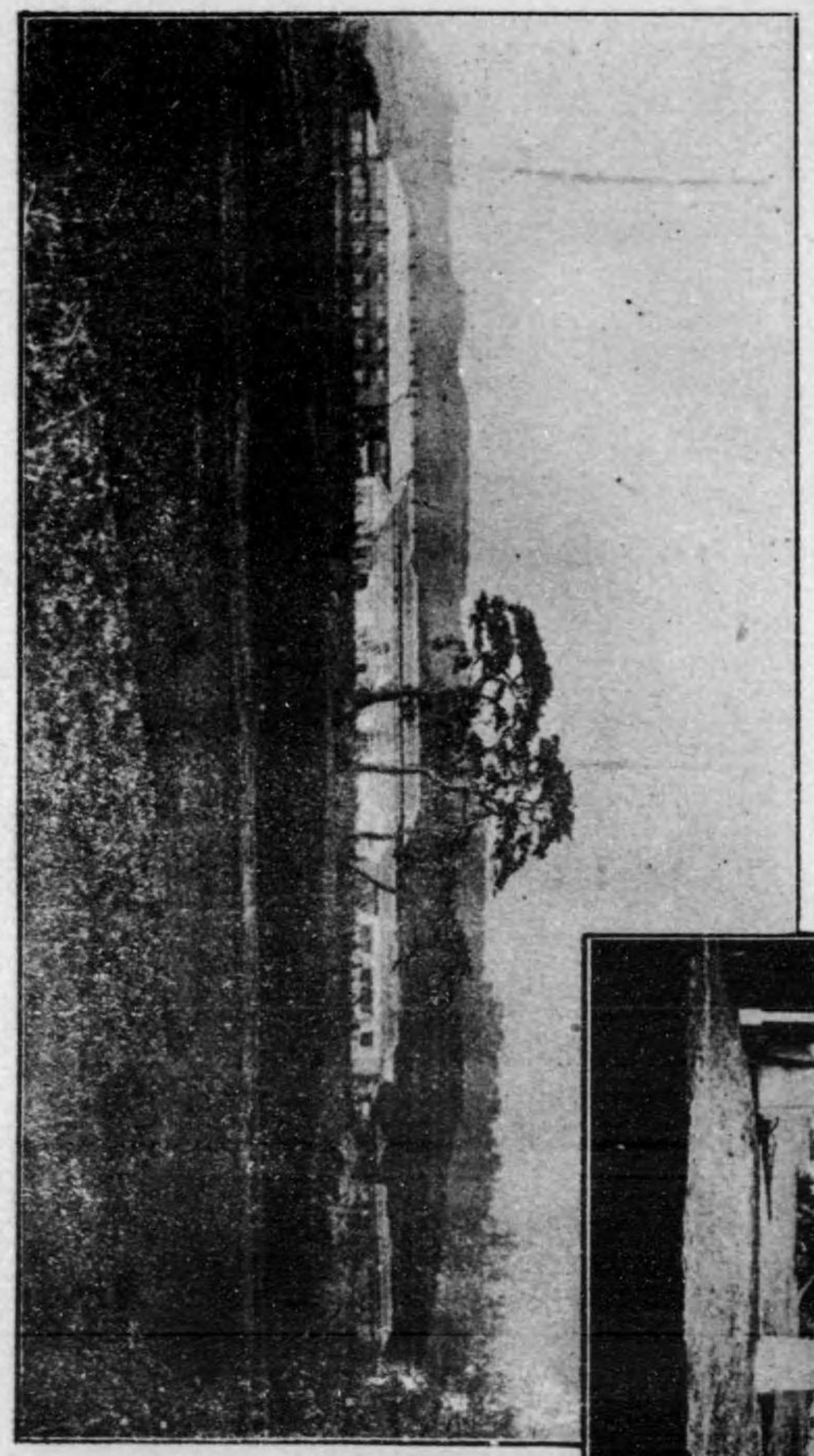
第一、沿革	一	二
第二、設備	二	二
一、敷地	二	二
二、建築物	二	二
三、桑園	三	二
第三、經費豫算	三	二
第四、原蠶種製造成績	四	四
一、春蠶	四	四
二、秋蠶	七	四
第五、原蠶種配付成績	九	九
一、春蠶種	九	九
二、夏秋蠶種	三	九
三、累年原蠶種配付成績	五	九
第六、試験及調査	九	九
一、養蠶ニ關スル試験及調査	九	九
イ 春蠶一代雜種比較試験	一九	九
ロ 春蠶一代雜種比較試験累年成績	一九	九
ハ 「レントゲン」線放射試験	一九	九
ニ 生種ト黒種トノ比較試験	一九	九
ホ 晩秋蠶採種法試験(豫報)	一九	九
ヘ 配付品種形質調査	一九	九
一、桑園ニ關スル試験	一九	九
イ 三要素適量試験	一九	九
ロ 輪採法試験	一九	九
ハ 株數並ニ施肥量試験	一九	九
ニ 窒素肥効率試験	一九	九
ホ 肥料成分ノ萌質蠶卵並ニ次代蠶兒ニ及 ホス關係試験	一九	九
第七、蠶業講習	一九	九
第八、雜件	一九	九
一、現在職員	一九	九
二、職員ノ出張	一九	九
三、文書件數	一九	九
四、來觀人員	一九	九

- 一、...
- 二、...
- 三、...
- 四、...
- 五、...
- 六、...
- 七、...
- 八、...
- 九、...
- 十、...

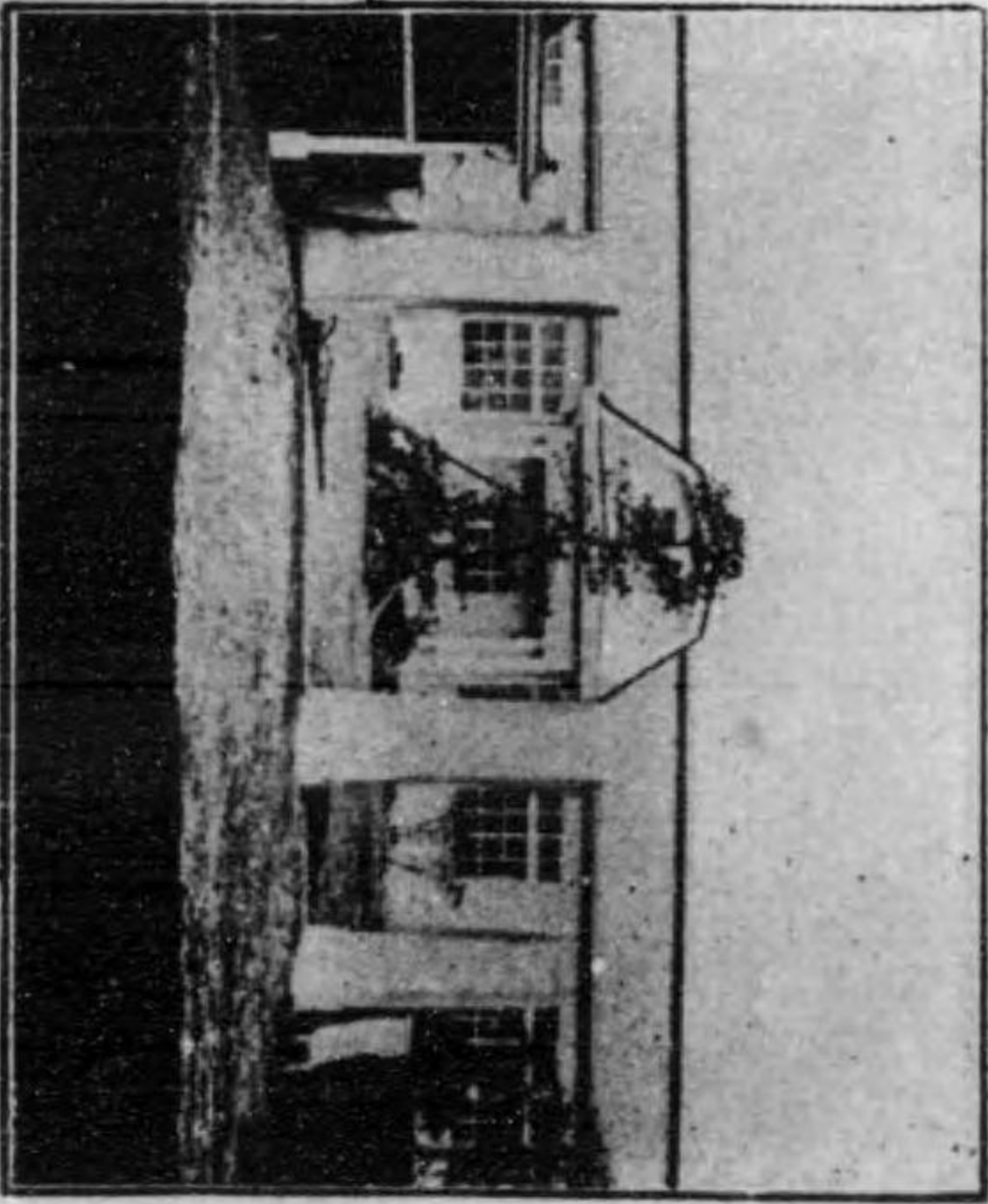
神奈川縣立氣仙沼養蠶場事務所報告

目次

一、...	...
二、...	...
三、...	...
四、...	...
五、...	...
六、...	...
七、...	...
八、...	...
九、...	...
十、...	...

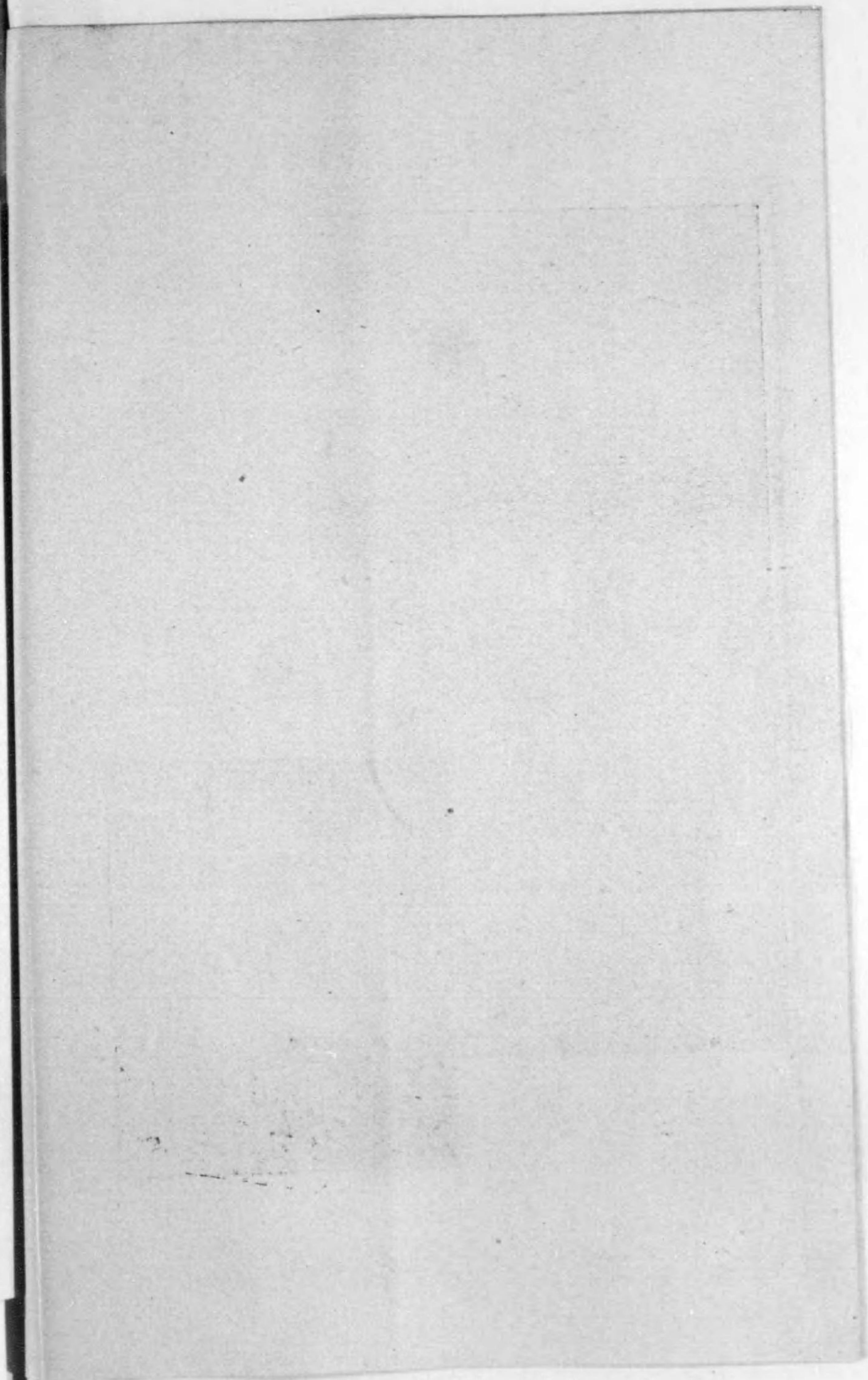
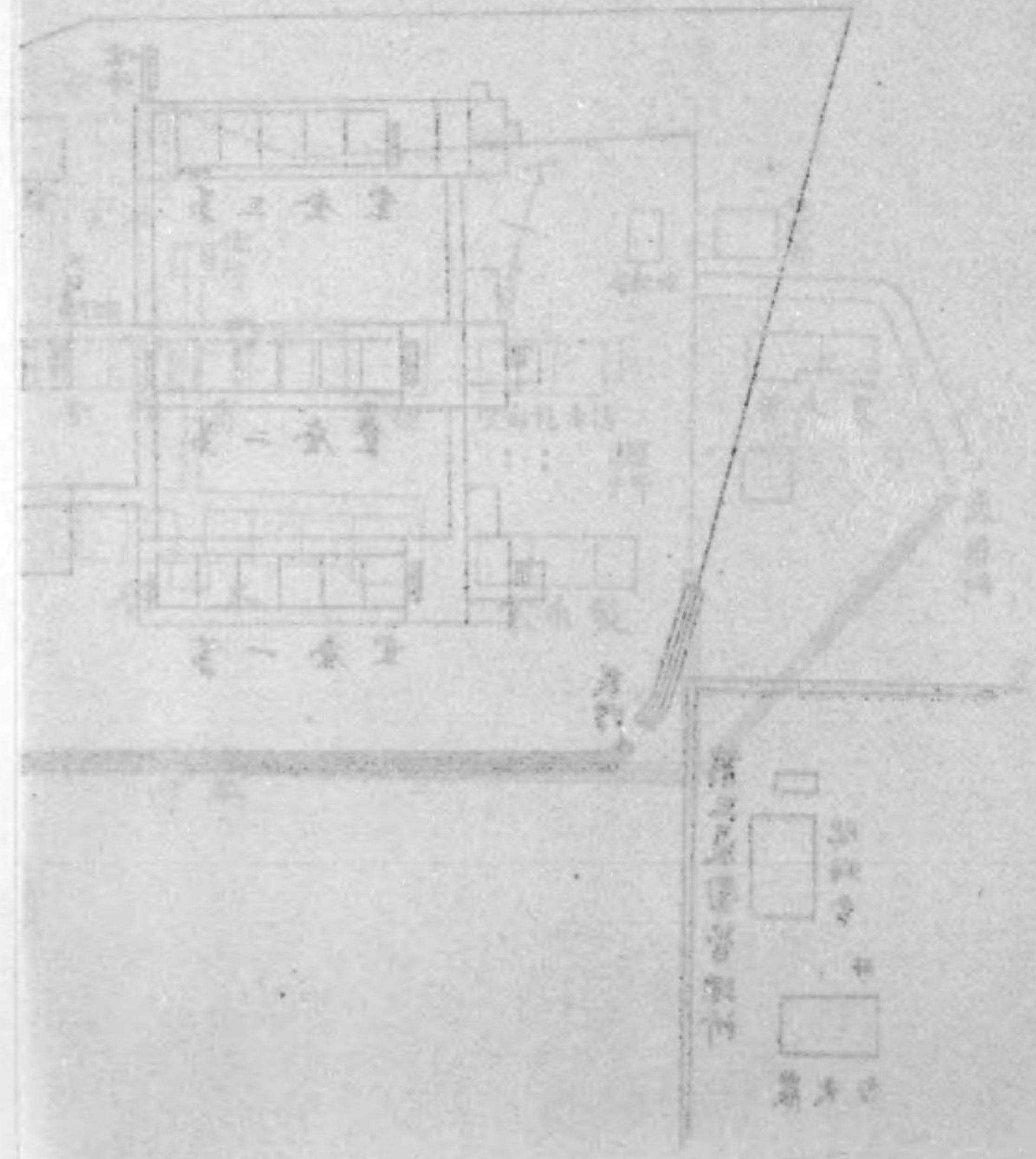


神奈川縣立蠶種製所全景

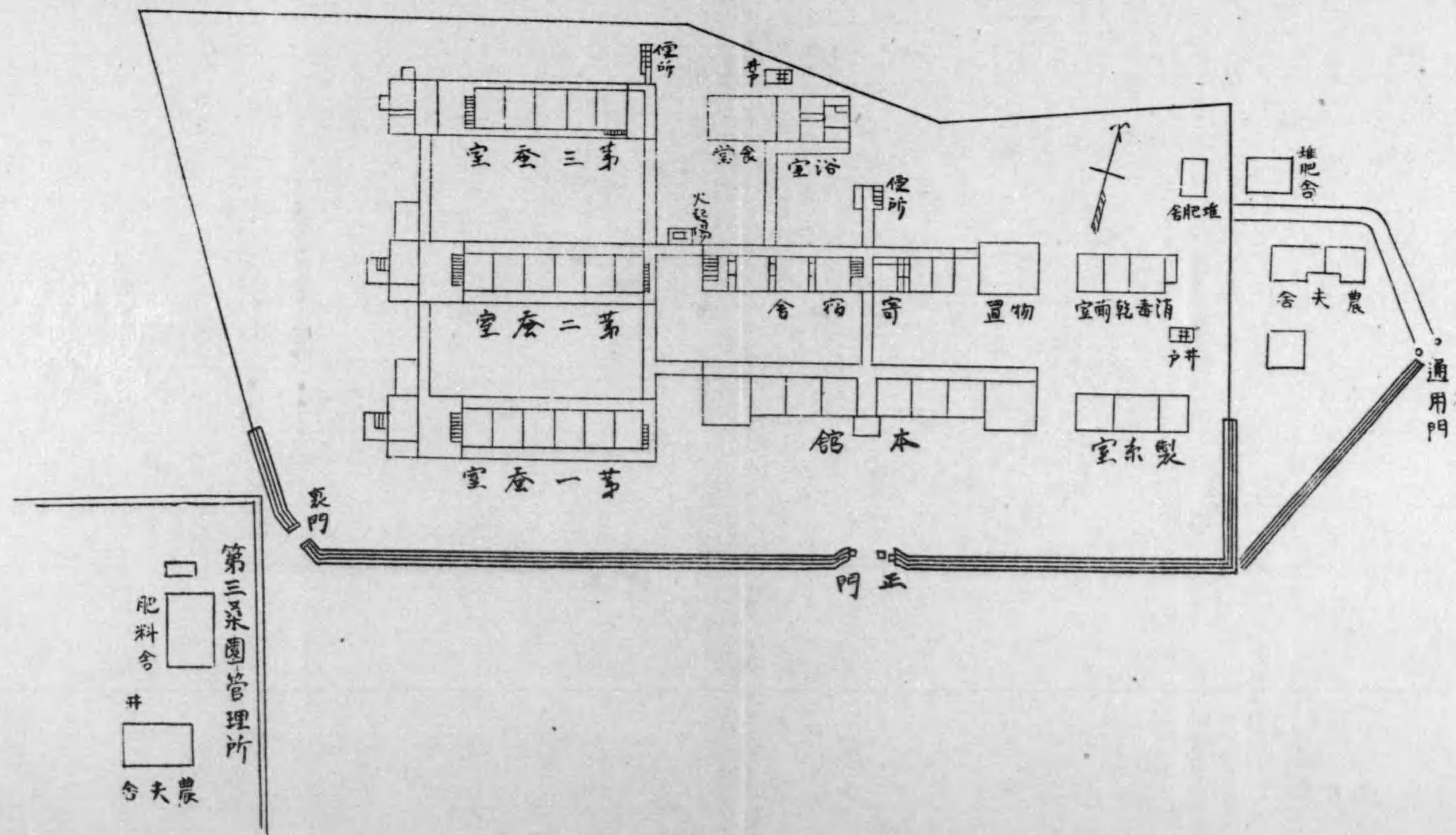


蠶種製所

中國地圖



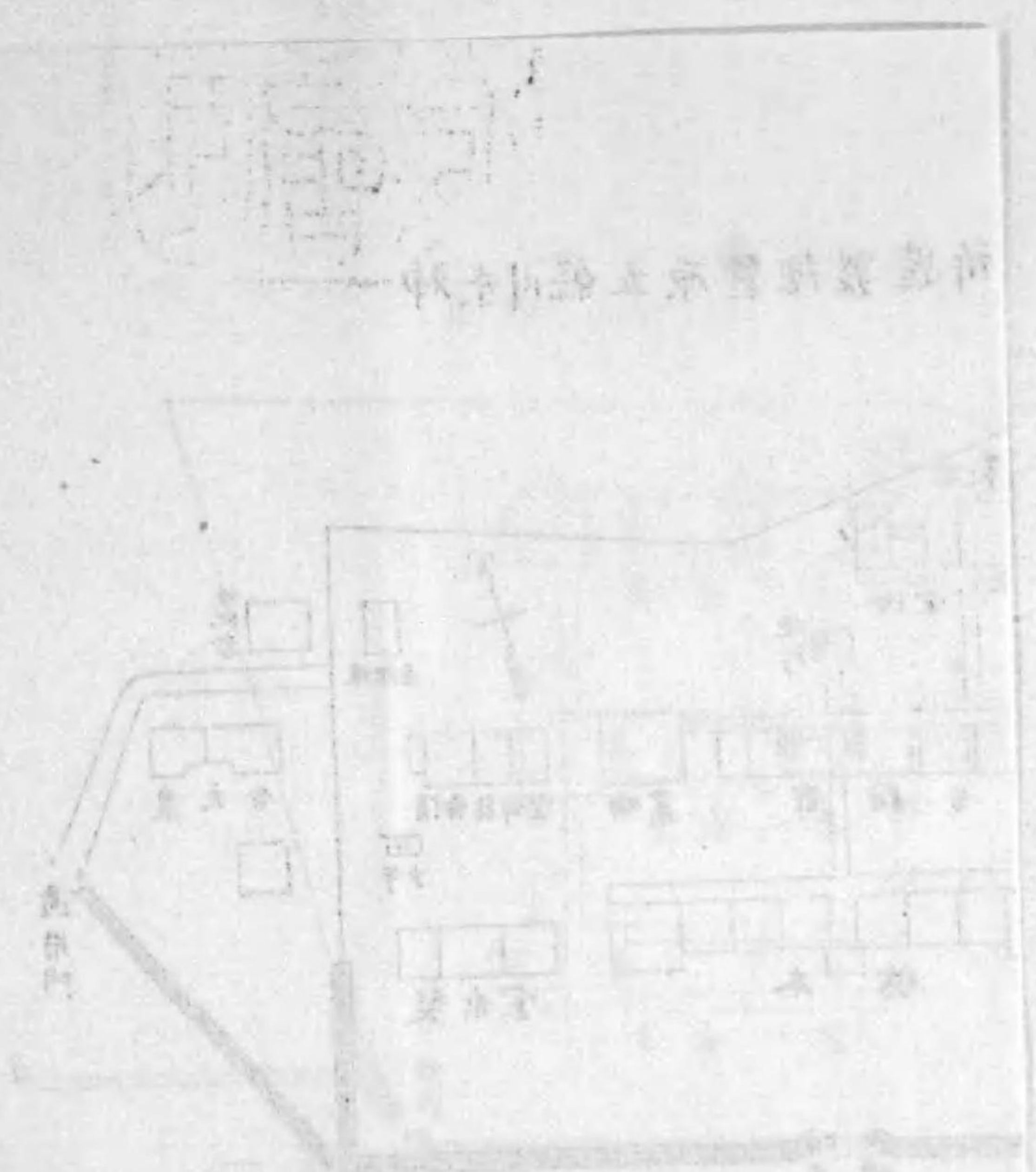
1/2345 KEN 7 圖置配面平所造製種蠶原五縣川奈神
尺縮 600



神奈川縣立原蠶種製造所事績報告 第六號

第一 沿革

本所ハ明治四十二年ノ創設ニシテ元神奈川縣立農事試驗場蠶業部ト稱シ明治四十三年二月縣告示第二十四號ヲ以テ高座郡藤澤町ニ設置スル旨ヲ告示セラレ縣下ノ風土ニ適應スヘキ育蠶法及栽培法等ヲ研究シ營業者ニ模範ヲ示スト同時ニ蠶種ヲ配付シ傍ラ講習生ヲ募集シテ蠶絲業ノ指導經營者ヲ養成スル趣旨ヲ以テ新營シタルモノニシテ大正元年ニ至リ豫定ノ工事及設備略終レリ然ルニ蠶業部ハ大正二年三月縣告示第六十二號ヲ以テ神奈川縣立原蠶種製造所ト改稱セラレシニヨリ土地及建物等一切ノ物件並ニ從來蠶業部ニ於テ施行シ來レル蠶桑ニ用スル試驗講習等ノ事業ヲ繼承シ同年四月一日ヨリ原蠶種ノ製造配付ノ事務ヲ開始セリ同年五月縣令第六十三號ヲ以テ神奈川縣立原蠶種製造所蠶種配付規程ヲ制定セラレ大正八年六月ニ至リ縣令第五十八號ヲ以テ同蠶種配付規程ノ改正ヲ發布セラル而シテ縣下蠶絲業ノ發展ハ著シク其度ヲ昂進シ且ツ時代ノ進運ハ斯業ニ關スル諸種ノ試驗研究ヲ要スル事項愈多キヲ加ヘ且ツ當業者ヨリハ配付蠶種ノ要望激増シ來リタルヲ以テ舊來ノ土地及建物ニテハ其要望ヲ滿ス能ハサルニ至リ縣當局ハ茲ニ於テ乎大正七年是ガ改造増築ヲ提案セシニ縣會ハ又之ニ協賛シ工費拾萬四千貳百餘圓ノ豫算ヲ以テ大正八年八月ヨリ改築ニ着手シ大正九年九月豫定ノ工事ヲ竣成セリ其他蠶業部ノ設置以來蠶絲業ノ指導者養成ニ關シテハ別ニ四十二年二月縣令第六號ヲ以テ蠶業講習規則ヲ定メラシムル年々蠶業講習生ヲ募集教養シ來リ大正元年ヨリ更ニ製絲講習生ヲ募集シ之ガ養成ニ努メ大正七年ニ至ルマテ八十八名ノ修了者ヲ出シタリ然ルニ大正八年九月縣告示第二百一十一號ヲ以テ蠶業講習規則改正ト同時ニ製絲講習ヲ中止シ養蠶講習期間ヲ延長シ學科目其他ノ改正ヲ行ヒ本年マデニ養蠶講習修了者二百五十名ヲ出セリ



第二設

一、敷地 一町一段九畝一步
二、建築物

種別	棟數	坪數	種別	棟數	坪數
表門	1	1ヶ所	便所	2	5.5坪
通用門	1	2ヶ所	製絲場其他	1	28.5坪
本館	1	121.0坪	波廊下	1	60.5坪
火起場	1	3.0坪	農夫舍	2	31.5坪
乾消毒室	1	24.5坪	推肥舍	2	18.0坪
蠶室	3	347.0坪	掲示場	2	1ヶ所
食堂其他	1	42.0坪	井戸及屋形、流シ	1	2ヶ所
寄宿舍及宿直室	1	73.5坪	鐵條柵	1	20間
物置	1	20.0坪	農夫舍及肥料舍	2	20間

三、桑園 桑園ハ總計六町六反七畝二十七步二合ニシテ其内五町六反二畝二合ハ普通桑園ニシテ一町五畝二十七步ハ試驗桑園ナリ其概要次ノ如シ
 第一桑園 一町八畝九步 普通桑園
 本所構内ニ在リ土質ハ壤質砂土ニシテ根刈仕立ナリ春蠶専用十文字並ニ夏秋蠶兼用甘樂ヲ主ナルモノトス
 第二桑園 一町一反六畝四步 普通桑園
 藤澤町字西横須賀ニ在リ土質ハ壤質砂土ニシテ根刈仕立ナリ市平、甘樂、早生十文字、紫早生等ニシテ植

付後二年目ナリ

八反九畝十七步二合 普通桑園

試驗桑園

第三桑園 一町五畝二十七步
 藤澤町字本入ニ在リ土質ハ火山灰土ニシテ根刈仕立ナリ大正八年度栽植セルモノニシテ品種ハ黑春日、鶴田、甘樂、早生十文字、武田十文字、清十郎等ナリ
 平塚桑園 二町四反八畝 普通桑園
 中郡平塚町ニ在リ元神奈川縣桑苗養成所ナリシヲ大正七年度ヨリ繼承シタルモノナリ土質ハ壤質砂土ニシテ其大部分ハ大正七年及同八年度ニ於テ栽植シタルモノナリ根刈仕立ニシテ品種ハ市平、春日、早生十文字、鶴田等ナリ

第三 經費豫算

經常部

科	目	豫算額	備考
原蠶種製造所費	俸給	三二、五一六三・一〇	本年度豫算増額ヲ含ム
	雜給	七、〇九四〇・〇〇	
	所費	八、九〇五三・一〇	
	修繕費	一四、〇七〇〇・〇〇	
		二、四四七〇〇・〇〇	

原蠶種製造所費

建築費

五、五五四〇〇〇

第四 原蠶種製造成績 (大正九年度)

一 春 蠶

(イ) 原蠶種ノ貯藏及保護

原種ハ二月中旬本縣蠶種同業組合氷庫ニ貯藏シ置キ四月十八日出庫シ全十九日ヨリ平進法ニ依リ催青シ五月二日ヨリ全月四日ニ亘リテ大部分ノ掃立ヲ行ヒタリ催青中ノ溫濕度並ニ催青日數左ノ如シ

品種名	項目	催青着手		孵化月日		經過日數		催青中平均		備考
		月	日	月	日	日數	溫度	濕度		
國蠶日一號	支四號	四	九	五	二	三	三	七、一	六九、七	解卵器催青ノ爲メ溫度ノ調査ヲ欠ク 全 六、二度—五日 六、一度—二日
全	支五號	四	九	五	二	三	三	七、三	六九、九	
全	支七號	四	九	五	二	三	三	七、三	六九、九	
全	支八號	四	九	五	二	三	三	七、三	六九、七	
全	歐三號	四	九	五	二	三	三	七、九	六九、八	
全	歐七號	四	九	五	二	三	三	七、九	六九、八	
青	熟	四	九	五	二	三	三	七、三	六九、八	
諸	桂	四	九	五	二	三	三	七、三	六九、八	
國蠶支一〇一號	桂	五	三	六	二	四	二	六、一	六九、九	
國蠶支一〇一號	桂	五	三	六	二	四	二	六、一	六九、九	

(ロ) 蠶兒發育經過表

品種名	項目	掃立月日		上簇月日		食桑中		絶食中		計數		溫度	
		月	日	月	日	日數	日數	日數	日數	日數	日數	溫度	濕度
國蠶日一號	支四號	五	二	六	二	二	一	六	三	三〇	三	七、三	七、二
全	支五號	五	二	六	二	三	一	五	三	二八	一	七、三	七、二
全	支七號	五	三	六	三	三	一	五	三	二八	一	七、三	七、二
全	支八號	五	三	六	三	三	一	五	三	二八	一	七、三	七、二
全	歐三號	五	三	六	三	三	一	五	三	二八	一	七、三	七、二
全	歐七號	五	三	六	三	三	一	五	三	二八	一	七、三	七、二
青	熟	五	三	六	三	三	一	五	三	二八	一	七、三	七、二
諸	桂	五	三	六	三	三	一	五	三	二八	一	七、三	七、二
國蠶支一〇一號	桂	五	三	六	三	三	一	五	三	二八	一	七、三	七、二

飼育中ノ氣象ト蠶兒ノ發育ノ經過
本年ノ春蠶ハ稚蠶期ニ於テハ概シテ曇雨天多クシテ多濕且比較的夜間ノ溫度高ク換氣排濕ニハ不尠困難ヲ感
ジタルモ壯蠶期ニ於テハ晴天多クシテ概シテ天候良好ナリシヲ以テ蠶兒ノ經過頗ル良好ニシテ強健ナル發
育ヲ遂ケタリ

(ハ) 收 繭 表

品種名	項目	掃立蠶量又ハ蛾數		普通繭		同功繭		計		對蠶量一匁又ハ一蛾收繭量	
		匁	數	匁	數	匁	數	匁	數	匁	數
國蠶日一號	支四號	四、〇	一〇、五	一一、九	一、五	一、五	一、五	一四、〇	一、五	三、五〇二	五
全	支四號	四、〇	一〇、五	一一、九	一、五	一、五	一、五	一四、〇	一、五	三、五〇二	五

催青中ノ温湿度並ニ日數左ノ如シ

品種名	項目	催青着手日	孵化日	經過日數	催青中平均湿度	催立月日
國蠶支一〇一號	模	七月廿七日	八月八日	二〇日	七十九度	八月三日
全日一〇六號	模	七月廿三日	八月三日	二〇日	七十九度	八月三日

(口) 蠶兒發育經過表

品種名	項目	採立月日	上簇月日	經過日數		計	温飼育平均湿度
				食桑中	絶食中日		
國蠶支一〇一號	模	八月廿三日	八月廿三日	一八日	三日	二一日	八十九度
全日一〇六號	模	八月廿三日	八月廿三日	一八日	三日	二一日	八十九度

飼育中ノ氣象ト蠶兒發育經過
 本年秋蠶期ニ於ケル天候ハ一、二齡及五齡期ニ於テ曇雨天多ク多濕ニシテ極メテ不良ナリシモ三、四齡ハ概
 ネ晴天ニシテ比較的良好ナリシ蠶兒ハ稚蠶期ニ於テハ發育良好ナリシモ三、四齡期ニ於テ桑園ニ螟蟲發生シ
 五齡期ニ至リテハ其ノ蔓延一層甚シク全桑園ニ對シ一齊驅除ヲ行ヒ尙桑葉ノ撰擇ヲ嚴ニシテ防除ニ努メタル
 モ螟蟲糞中毒蠶ヲ多發シ發育良好ナラサリシ

(ハ) 收繭表

品種名	項目	普通繭		繭同功		合計	對蠶量一匁
		量	數	量	數		
國蠶支一〇一號	模	一七、一六三匁	八二	一、七〇〇匁	一、七〇〇	一、九六四	二、四六八

(ニ) 繭質調査表

品種名	項目	百顆重量	一升ノ顆數	平均		繭ノ度	繭色
				絲量	絲長		
全日一〇六號	模	二〇、八	九、〇	一、〇〇匁	二、〇三八	二五、五八四	白
國蠶支一〇一號	模	二〇、〇	一五、七	三、八〇匁	二、〇三三	一一、九六四	白

(ホ) 蠶種製造表

品種名	項目	上簇月日	最多發蛾月日	採種温度	上簇後最多發蛾迄日數	種繭量	製造蛾數	母蛾檢査成績
全日一〇六號	模	八月廿三日	九月二日	十九度	三日	九、九四九匁	九、九四九	八、一五四

第五 原蠶種配付成績 (大正九年度)

一 春蠶種

(イ) 配付蛾數郡別表

品種名	郡別	配付蛾數
國蠶支一〇一號	橋樹郡	八、二四
	高座郡	九、八
	愛甲郡	八、二四
	中郡	一六
	足柄上郡	六、三三
	足柄下郡	四、三五四
	津久井郡	四、三四九
計	五、二	

品種名	郡別	橋樹郡	高座郡	愛甲郡	中郡	足柄上郡	足柄下郡	津久井郡	計
全支五號	全支五號	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
全支七號	全支七號	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
全歐三號	全歐三號	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
全歐七號	全歐七號	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
青熟	青熟	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
諸桂	諸桂	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
合計(延人員)數	合計(延人員)數	一〇〇〇〇〇〇〇〇	二〇四八六六	八一九四五〇〇〇〇七三	七二〇五五二〇〇一五二	四一五二二三二一一〇三三	三九三二〇一〇〇三〇	一四三三三〇一〇〇七	一四二二四八

(八) 配付人員郡別表

品種名	郡別	橋樹郡	高座郡	愛甲郡	中郡	足柄上郡	足柄下郡	津久井郡	計
全支五號	全支五號	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
全支七號	全支七號	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
全歐三號	全歐三號	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
全歐七號	全歐七號	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
青熟	青熟	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
諸桂	諸桂	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇
合計	合計	五六一〇	三、七〇〇	九、一七〇	五、二九七	一、三〇六	一、四二八	四、七〇五	一、〇〇四

備考 右行ハ原蠶種製造用左行ハ普通蠶種製造用トス (以下做之)

(口) 請求蛾數郡別表

品種名	郡別	橋樹郡	高座郡	愛甲郡	中郡	足柄上郡	足柄下郡	津久井郡	計
全支四號	全支四號	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
國蠶日一號	國蠶日一號	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
全支五號	全支五號	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
全支七號	全支七號	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
全歐三號	全歐三號	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
全歐七號	全歐七號	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
青熟	青熟	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
諸桂	諸桂	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
合計	合計	一、七三二	一、七〇八	九、一七九	五、二九七	一、三〇六	一、四二八	四、七〇五	一、〇〇四

品種名	郡別	桶樹郡	高座郡	愛甲郡	中郡	足柄上郡	足柄下郡	津久井郡	計
國蠶支八號		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
交雜(國蠶支四號)		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
國蠶支一〇一號		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
全日一〇六號		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
相摸		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
交(國蠶支二〇號)		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
雜(全支四號)		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
國蠶日一〇六號		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
合計		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八

(二) 請求蛾數郡別表

品種名	郡別	桶樹郡	高座郡	愛甲郡	中郡	足柄上郡	足柄下郡	津久井郡	計
全日一〇六號		〇〇〇〇	一、二八〇	三、四二〇	一、四〇〇	三、四二〇	一、四〇〇	五、六八〇	二、三六〇
相模		〇〇〇〇	一、二八〇	三、四二〇	一、四〇〇	三、四二〇	一、四〇〇	五、六八〇	二、三六〇
交(國蠶支二〇號)		〇〇〇〇	一、二八〇	三、四二〇	一、四〇〇	三、四二〇	一、四〇〇	五、六八〇	二、三六〇
雜(全支四號)		〇〇〇〇	一、二八〇	三、四二〇	一、四〇〇	三、四二〇	一、四〇〇	五、六八〇	二、三六〇
國蠶日一〇六號		〇〇〇〇	一、二八〇	三、四二〇	一、四〇〇	三、四二〇	一、四〇〇	五、六八〇	二、三六〇
合計		〇〇〇〇	一、二八〇	三、四二〇	一、四〇〇	三、四二〇	一、四〇〇	五、六八〇	二、三六〇

品種名	郡別	桶樹郡	高座郡	愛甲郡	中郡	足柄上郡	足柄下郡	津久井郡	計
國蠶日一號		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
全支四號		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
全支五號		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
全支七號		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
全歐三號		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
全歐七號		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
青熟		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
諸桂		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
合計(延人員)		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八
實數		〇〇〇〇	二〇九	二六二	一四〇	二二八	〇〇〇	九七	一六八

(一) 夏秋蠶種
(イ) 配付蛾數郡別表

(三) 請求人員郡別表

品種名	項目	大正三年	大正四年	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	計
大頭	支	〇	三〇四	〇	〇	三、七五二	四、六四八	三、〇四三	一五、九八三
青熟	日	〇	八二二	一、四〇四	二、三三四	〇	〇	〇	一五、九八三
赤熟	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
小計	山	六七三	六、五二三	六、六八九	六、二九二	八、六五一	一一、九三六	九、四六二	五〇、三九五

(二) 夏秋蠶種

品種名	項目	大正三年	大正四年	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	計
相摸一號	固	〇	二、六六〇	二、〇六〇	三、九二〇	二、〇一六	三、五五〇	二、六三二	八、五九九
相摸二號	固	〇	四、一〇〇	五、五一一	〇	〇	〇	〇	四、七〇〇
一號	固	〇	三、九二二	〇	〇	〇	〇	〇	四、七五二
全支一〇六號	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
全支八號	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
全支一〇一號	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
國支一〇六號	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
白鶴	日	〇	五、六	〇	〇	〇	〇	〇	五、六
千代	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
大草	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
青熟	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
新無	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
交雜青無	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
計		一、二二八	二、六五五	三、八三三	八、〇九二	四、八二二	五、一〇二	四、六五五	一〇、二二八

品種名	項目	大正三年	大正四年	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	計
全新無	支	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
國支一〇六號	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
國支一〇一號	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
全支一〇六號	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
全支八號	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
全支一〇一號	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
國支一〇六號	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
白鶴	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千代	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
大草	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
青熟	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
新無	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
交雜青無	日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
計		六、七三	七、三〇八	四、七七〇	九、四四	二、一、四三二	二、三、四三二	三、三、三六	六、九八

備考 本表中「日」ハ日本種、「支」ハ支那種、「固」ハ固定種、「歐」ハ歐洲種、「交」ハ交雜種ヲ略ス

第六 試驗 及 調査

一 養蠶ニ關スル試驗

(1) 春蠶一代雜種比較試驗

本試驗ノ目的ハ從來優良ト認メラル、品種ニ付同一狀態ノ下ニ之ヲ飼育シ飼育ノ難易、收繭量ノ多寡、繭質ノ良否、解舒ノ難易、絲量ノ多寡、絲質ノ良否並ニ生絲ノ品位等ヲ調査シ其ノ得失ヲ比較對照シ以テ品種改良並ニ繭質統一ノ資ニ供セントスルニアリ

一、供試品種名及其系統左ノ如シ

青蠶支四號	諸角支	青蠶支四號	全蠶支四號	國蠶支四號	國蠶支四號	全蠶支四號	國蠶支四號	國蠶支四號	全蠶支四號
六、二七	六、六二	六、五七	六、二八	六、二八	五、七	六、六	六、六	六、四	六、四
六、六六	六、六六	六、七	六、三	六、三	六、九	七、二	八、〇	八、〇	八、〇
六、〇〇	八、〇〇	七、八〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	六、〇〇
三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	一、七〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇
二、八七	三、〇七	二、九六	二、九二	二、八八	二、八八	二、八八	二、六二	二、六二	二、六二
三、六七	四、六四	三、八〇	三、六三	三、六〇	三、六〇	三、六〇	三、六二	三、六二	三、六二
二、一五	二、三五	二、二四	二、四〇	一、七六	一、七六	一、七六	二、三六	二、三六	二、三六
一、四二	二、二九	一、五六	一、一三	一、八四	一、八四	一、八四	一、四六	一、四六	一、四六
〇、七	〇、三五	〇、三四	〇、三七	〇、五三	〇、五三	〇、五三	〇、六九	〇、六九	〇、六九
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

一粒線ハ各品種ニ付キ線ノ際蛹体ニテ雌雄ヲ鑑別シ雌雄各二十五粒宛行ヒタル平均成績ナリ
 一顆ノ線量ハ國蠶日一號ノ最モ多クシテ國蠶日一號ノ最モ少シ
 絲長ハ國蠶日一號ノ最モ長クシテ國蠶日一號ノ最モ短シ

線絲試驗成績表

品種名	生繭重量	生繭容量	生繭得率	生繭百斤ニ對スル	普通繭生繭量	普通繭生繭量
國蠶日一號	一三、七五	一五、八九	一六、七	一一、〇	三、九	六、〇
全蠶日一號	一三、五八	一五、五九	一五、八	一一、〇	三、〇	六、〇

品種名	生繭重量	生繭容量	生繭得率	生繭百斤ニ對スル	普通繭生繭量	普通繭生繭量
諸角支	一三、九三	一六、五七	一六、一	一一、〇	三、八	六、一
青蠶支四號	一七、六五	一六、六八	一五、四	一一、五	三、五	五、八
國蠶支四號	一三、二二	一六、五八	一六、六	一一、五	三、五	五、八
諸角支	一三、一四	一八、一四	一六、九	一一、七	三、六	五、九
國蠶支四號	一三、三三	一五、九三	一四、三	一一、〇	三、三	五、七
全蠶支四號	一三、六四	一三、六三	一三、六	一一、〇	三、三	五、七

一時間ニ線絲シ得ル生繭量ノ最モ多キハ諸國蠶支四號ニシテ國蠶日一號ノ最モ少シ
 生繭百斤ニ對スル線量ハ國蠶支四號ノ最モ多ク諸國蠶支四號ノ最モ少シ

生絲檢查成績表

品種名	色澤	手觸	抱合	大類	小類	強力(對ニール)	伸度
國蠶日一號	稍赤味ヲ帶ヒ澤	趣味稍乏シ	佳	〇、五	三、六	四、八	一、八
全蠶日一號	稍赤味ヲ帶ヒ澤	稍腰弱シ	全	四、五	六、〇	五、三	一、九
青蠶支四號	稍赤味ヲ帶ヒ澤	全	全	四、五	六、〇	五、三	一、九
諸角支	稍赤味ヲ帶ヒ澤	全	全	六、〇	四、八	五、〇	一、九

國蠶支四號 飼育ノ難易ハ前者ニ畧同シ收繭量供試品種中最モ多ク繭形齊一ナルモ色澤純白ナラス絲量中位ナル
 全歐三號 飼育ノ難易ハ前者ニ畧同シ收繭量供試品種中最モ多ク繭形齊一ナルモ色澤純白ナラス絲量中位ナル
 モ解舒下位ニアリ
 之ヲ要スルニ各品種共一長一短アリテ一概ニ之カ良否ヲ決スルコト能ハサルモ日支一代雜種ニアリテハ
 青熟桂 國蠶支四號 全支四號 比スレハ飼育ノ成績ハ概シテ優ルト雖モ線絲ノ成績ニ於テハ後者ニ及ハス 諸熟桂 國蠶支四號 全支四號
 前二者ニ比スレハ概シテ劣レリ
 支支交雜種ハ收繭ノ成績ハ日支、交雜種ニ及ハサルモ解舒良好ニシテ絲量豐富ナリ而シテ供試品種中ニ在リテ
 ハ國蠶支四號 全支四號 比スレハ飼育ノ成績ハ概シテ劣レリ 諸熟桂 國蠶支四號 全支四號 比スレハ飼育ノ成績ハ概シテ劣レリ
 支歐一代雜種ハ飼育、日支、支々一代雜種ニ比スレハ容易ナラス 全歐三號 國蠶支四號 全支四號 比スレハ飼育ノ成績ハ概シテ劣レリ
 國蠶支十號 全支七號 比スレハ解舒絲量共ニ下位ニアリ

(口) 春蠶一代雜種比較試驗果年成績

品 種 名	對繭量一匁		對普通繭一匁		對同功繭一匁		對普通繭一匁		對同功繭一匁	
	給桑量	總收繭額	給桑量	總收繭額	給桑量	總收繭額	給桑量	總收繭額	給桑量	總收繭額
國蠶支四號 全支四號	五九、五八〇、〇	三、五六五、三	二、九〇八、八	四九、五	六〇七、〇	四、九四三、四	八二、三	一、〇二一、四	全	六、七、八、九年
新青 昌 長 熟 桂 尺	六三、四〇、八	三、八八七、一	三、二六、三	三四、八	五九、〇	六一、五七、九	五、一六七、四	五、三、八	全	六、七、八年
青 熟 桂 尺	六三、九一、二	三、六五、一	三、〇九〇、三	七八、八	四六、〇	五、七五、九	四、八四四、五	二三八、一	全	七、八、九年

收 繭 表

品 種 名	對繭量一匁		對普通繭一匁		對同功繭一匁		對普通繭一匁		對同功繭一匁	
	給桑量	總收繭額	給桑量	總收繭額	給桑量	總收繭額	給桑量	總收繭額	給桑量	總收繭額
國蠶支三號 日四號	五八、六〇、八	三、五六七、九	二、八八、五	二四、一	六六、三	六、〇七、七	四、八六〇、九	四一、三	全	六、七、八年
新青 元 熟 尺	五八、六五、三	三、六四七、〇	三、〇六二、〇	三六、〇	五四九、〇	六、二四、〇	五、二八、〇	六一、五	全	六、七、八年
諸 角 那 尺	六五、三〇、〇	三、六五四、五	三、一七八、〇	三五、五	四四、〇	五、六八、八	四、八七五、四	五五、〇	全	八、九年
國蠶支四號 熟 尺	六三、四九、〇	三、七九六、三	三、一八八、〇	三三、三	五八五、〇	五、九三三、〇	五、〇三、一	三七、七	全	八、九年
全 支 五 號 尺	六二、五三七、五	三、四六一、七	三、一八〇、〇	一七、七	一六五、〇	五、五三八、五	五、二四六、二	二八、四	全	八、九年

一 粒 線 成 績 表

品 種 名	一 粒 線		長		開		織		度		對 四 〇 〇 回	調 查 年 度
	平均	最長	最長	最短	平均	最太	最細	開	類			
國蠶支三號 日四號	六三、九	七九〇	五四七	二四三	三、〇一	三、七八	二、三三	一、四六	〇、三	〇、六	全	大正七、八、九年
新青 昌 長 熟 尺	六三、二	八三三	四七三	三三〇	二、八〇	三、五八	二、一三	一、五四	〇、二九	〇、三	全	六、七、八年
國蠶支四號 熟 尺	六三、九	七七一	四九五	二七六	三、一三	三、八六	二、四〇	一、四六	〇、三〇	〇、三	全	六、七、八年
全 支 一 號 尺	六五、六	八〇〇	四九〇	二七六	二、九三	三、九三	二、二八	一、六六	〇、二	〇、三	全	六、七、八年
新青 元 熟 尺	五、九一	七七五	三三九	二七六	二、九三	三、八六	二、四〇	一、四六	〇、二	〇、三	全	六、七、八年
諸 角 那 尺	六、四八	八五	五〇五	三〇〇	二、九三	三、八六	二、四〇	一、四六	〇、二	〇、三	全	六、七、八年
國蠶支四號 熟 尺	六、三三	七七〇	五七五	二九三	二、九三	三、八六	二、四〇	一、四六	〇、二	〇、三	全	六、七、八年
全 支 五 號 尺	六、二〇	七五五	五六五	一九〇	二、八八	三、五二	二、二九	一、三三	〇、三八	〇、三	全	八、九年

以上ノ調査ニヨリ發生歩合 國産支四號 凡ニ於テハ 0.5 糶分 | 4.0 糶分 | 15 區最モ良好ニシテ 0.5 糶分 | 40 糶分 | 10 區 0.5 糶分 | 40 糶分 | 12 區

0.5 糶分 | 30 糶分 | 15 區之ニ次キ 0.5 糶分 | 40 糶分 | 8 區最モ不良ナリシ概シテ標準區ヨリ放射區良好ナリシ

青熟原五ニ於テハ 0.5 糶分 | 30 糶分 | 10 區最モ良好ニシテ 0.5 糶分 | 30 糶分 | 8 區 0.5 糶分 | 40 糶分 | 8 區之ニ次キ 0.5 糶分 | 40 糶分 | 12 區最モ不良ナリシ概シテ標準區ヨリ放射區ニ於テ發生良好ナリシ

新昌長ニテハ 0.5 糶分 | 30 糶分 | 8 區最モ良好ニシテ 0.5 糶分 | 30 糶分 | 15 區 0.5 糶分 | 40 糶分 | 12 區之ニ次キ 0.5 糶分 | 40 糶分 | 8 區最モ不良ナリシ標準區ヨリ放射區發生歩合良好ナリ

青熟原六ニ於テハ 3.0 糶分 | 40 糶分 | 8 區最モ良好ニシテ 3.0 糶分 | 40 糶分 | 4 區 3.0 糶分 | 30 糶分 | 4 區之ニ次キ 3.0 糶分 | 30 糶分 | 6 區最モ不良ナリ標準區ハ概シテ放射區ニ比シ優レリ之本區ハ孰レモ第二次電流一ミリ以上ニシテ強キニ原因スルナランカ之ヲ綜合スルニ O、五ミリアンペアニアリテハ孰レモ標準區ヨリ發生良好ナル傾キアルモノ、Oミリアンペア以上ノモノニアリテハ之ニ反スルガ如キ傾向アリ

糶分	5	5	15	15	秒8	6
糶分	六	五	六	五	六	五
糶分	(十)	(十二)	(十)	(十二)	(十)	(十二)
糶分	-	0	-	0	-	0
糶分	九七、五	八二、九	八五、九	九八、五	九〇、七	九二、〇
糶分	(十)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
糶分	一、五	一、三	一、〇	二、五	五、三	四、〇
糶分	七	七	七	七	七	七
糶分	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)

糶分	5.0	"	"	3.0	"	"	3.0	"	"	1.0	"	"	1.0	糶分
糶分	40	"	"	40	"	"	30	"	"	30	"	"	20	糶分
糶分	4	8	6	4	8	6	4	8	6	4	8	6	4	糶分
糶分	五	五	五	六	六	六	五	六	五	五	五	五	五	糶分
糶分	(十一)	(十一)	(十一)	(十)	(十)	(十)	(十一)	(十)	(十一)	(十一)	(十一)	(十一)	(十一)	糶分
糶分	0	0	0	-	-	-	0	-	0	0	0	0	0	糶分
糶分	八八、七	九七、四	八九、一	九六、九	八九、六	八五、二	九六、九	九二、四	九六、六	九三、九	八七、八	九四、一	九五、〇	糶分
糶分	(一)	(十)	(一)	(十)	(一)	(一)	(十)	(一)	(十)	(一)	(一)	(一)	(一)	糶分
糶分	七、三	一、四	六、九	〇、九	六、四	一〇、八	〇、九	三、六	〇、六	二、一	八、二	一、九	一、〇	糶分
糶分	八	八	七	八	七	八	八	七	七	七	七	七	八	糶分
糶分	(十一)	(十一)	(一)	(十一)	(一)	(十一)	(十一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(十一)	糶分

体量調査表

(對百頭)

四二

番號	品種名	試驗區	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡
一	支四號	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
二	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
三	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
四	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
五	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
六	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
七	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
八	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
九	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一〇	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一一	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一二	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一三	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一四	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一五	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一六	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一七	青熟原	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0

番號	品種名	試驗區	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡
一	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
二	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
三	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
四	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
五	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
六	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
七	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
八	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
九	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一〇	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一一	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一二	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一三	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一四	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一五	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一六	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
一七	新昌長	0.5	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0

四三

青熟原五 ニ於テハ(三) 0.5 耗 分 40 15 區最モ多ク(六) 0.5 耗 分 40 6 區之レニ次キ(四) 0.5 耗 分 30 10 區最モ少シ標準區ハ中位以下ニ在リ

新昌長 ハ(四) 0.5 耗 分 30 4 區最モ多ク(五) 0.5 耗 分 40 8 區之レニ次キ(四) 0.5 耗 分 40 10 區最モ少シ標準區ハ概シテ優位ニ在ア

青熟原六 ニテハ(三) 3.0 耗 分 40 8 區最モ多ク(三) 5.0 耗 分 40 6 區(五) 5.0 耗 分 40 8 區之レニ次キ標準區ハ概シテ下位ニ在リ以上ニ依リ收蒔量ヲ比較スルニ 青熟原五ハレ線放射區ニ標準區ヨリ優位ノモノアレ共又之ニ劣ルモノアリ兩者ノ間ニ同一ノ傾向ナク發生前々日放射ノ新昌長ハ標準區却テ優位ニアリ放射ノ効果ヲ認メラレス一ミリ以上ノ放射ヲナシタル青熟原六ハ標準區ヨリ優位ノ成績ノモノ多クアレ共一定ノ傾向アルヲ認メ難シ

結繭蠶歩合ハ 青熟原五(一) 0.5 耗 分 30 4 區最モ良好ニシテ(六) 0.5 耗 分 40 6 區(二) 0.5 耗 分 30 6 區之レニ次キ(三) 0.5 耗 分 30 8 區最モ不良ナリ標準區ハ中位ニ在リ

青熟原五 (三) 0.5 耗 分 40 15 區最モ良好ニシテ(六) 0.5 耗 分 40 6 區(七) 0.5 耗 分 40 8 區之レニ次キ(九) 0.5 耗 分 40 12 區最モ不良ニシテ標準區ハ中位ニ在リ

新昌長 (五) 0.5 耗 分 30 6 區最モ良好ニシテ(四) 0.5 耗 分 30 4 區(五) 0.5 耗 分 30 8 區之レニ次キ(四) 0.5 耗 分 40 6 區最モ不良ナリ標準區ハ概シテ上位ニアリ

青熟原六 (六) 3.0 耗 分 30 6 區最モ良好ニシテ(三) 1.0 耗 分 20 8 區(三) 5.0 耗 分 40 4 區之レニ次キ(三) 3.0 耗 分 40 8 區最モ不良ナリ標準區ハ中位以下ニ在リ

各區ニ就テハ結繭蠶數ヲ比較スレハ標準區ハ概シテ中位ニアリ

收蒔歩合并ニ蒔質調査表

番 號	品 種 名	試 驗 區	普 通 蒔 質	同 切 蒔 質	普 通 蒔 質 一 升 數	蒔 層 歩 合	蒔 綿 歩 合
一	青熟原五	0.5 耗 分 30 4	八六、〇三	一三、四四	八九、三六	一七二	一四、八六
二	"	"	八五、〇〇	一四、〇八	八四、〇〇	一六〇	一四、九一
三	"	"	八六、一三	一一、二二	八〇、〇〇	一五九	一四、九三
四	"	"	八五、六四	一一、九四	七九、一七	一四八	一四、八六
五	"	"	八四、〇九	一一、四八	七六、〇〇	一五四	一四、四八
六	"	0.5 耗 分 40 6	八七、七六	八、九〇	八三、六九	一六四	一四、四三
七	"	"	八七、七〇	一〇、九八	七七、三三	一五〇	一四、四二
八	"	"	八七、七三	一〇、七〇	八一、三三	一五三	一四、四七
九	"	"	八七、七四	九、三三	八四、八〇	一六四	一四、一六
一〇	"	"	八七、九八	一〇、七四	七七、〇〇	一四六	一四、〇七
一〇	標準區	標準區	八八、一三	九、六七	七七、七〇	一五二	一四、六四
一一	青熟原五	0.5 耗 分 30 4	九四、六三	四、五八	九二、〇〇	一六六	一五、一四
一二	"	"	九四、四四	二、一〇	九四、五〇	一八三	一八、一三
一三	"	"	九二、四三	一、四七	九〇、〇〇	一七一	一四、四〇
一四	"	"	八八、一七	六、〇〇	九五、〇〇	一八五	一四、四三
一五	"	"	九六、六二	〇、九七	九六、〇〇	一八〇	一四、三三

三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	四九	四八	四七	四六	四五	四四	四三	五二	五一
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	青熟原六	"	"	"	"	"	"	"	"	"
"	3.0	"	"	3.0	"	"	1.0	"	"	1.0	標	"	"	"	0.5	"	"	"	"
"	40	"	"	20	"	"	30	"	"	20	準	"	"	"	40	"	"	"	"
6	4	8	6	4	8	6	4	8	6	4	區	15	12	10	8	6	15	10	8
六、〇〇	六、〇九	六、〇三	六、八六	六、四九	七、四九	六、二四	六、二〇	六、五七	六、五四	六、三六	六、〇〇	五、〇九	七、三七	五、七二	五、八九	四、八二	七、四〇	五、七三	五、六九
五八〇	五八四	五九六	六〇五	六二八	六七三	五七二	六五三	四九三	五七八	六四六	五一六	六五一	六五五	六二〇	六六八	六六八	六七一	六二四	六二六
六九〇	六九〇	六八〇	七四〇	七六〇	七五〇	六五〇	七六〇	六四〇	七〇〇	七四〇	七〇〇	八二〇	七七〇	六六〇	九〇〇	八三〇	七四〇	六七五	六八〇
四〇〇	四〇〇	四〇〇	五〇〇	五五〇	五〇〇	五〇〇	五五〇	五四〇	四二〇	五五〇	五〇〇	五四〇	六〇〇	四五五	四二五	五二〇	五五五	四〇〇	五〇〇
二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	一九〇	二〇〇	二七〇	二二〇	二二〇	四七五	二二〇	一八五	二七五	一八〇
三、一四	三、一六	三、一七	三、五三	三、三八	二、六〇	三、一八	二、九五	三、一三	三、三三	二、九六	三、〇三	三、七六	三、五三	二、八五	二、九六	二、七八	二、〇七	二、八五	二、九六
三、八四	三、八三	三、九三	四、〇〇	三、六六	二、九六	三、五六	三、五六	四、二七	四、七六	三、三三	三、五三	三、三三	三、五三	三、五三	三、三九	三、三三	三、四二	四、一〇	三、〇八
二、五五	二、七五	一、六六	二、六七	二、八四	二、〇八	三、〇四	二、一一	二、六七	二、七五	二、五四	二、四六	二、〇〇	二、三九	一、八三	二、二七	二、四一	二、〇三	二、〇九	二、三六
一、一九	一、〇八	二、一六	一、三三	〇、八二	〇、八八	〇、五三	一、四五	一、〇〇	一、〇二	〇、七九	一、一七	一、二五	一、一三	〇、八二	一、七三	一、〇二	一、三九	二、〇一	〇、七〇
〇、八二	一、一三	一、〇九	一、〇七	〇、三三	一、〇一	二、九〇	〇、六六	〇、六六	〇、四三	一、三六	一、七八	二、七六	一、三三	二、三三	七、八〇	九、二〇	一、五〇	三、五〇	二、六六

三二	三三	三四	三五	三六	三九	三八	五〇	三六	三七
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
"	5.0	"	"	"	標	"	25	"	"
"	40	"	"	"	準	"	40	"	"
8	4	8	6	4	區	8	15	6	6
六、五三	六、五三	六、五七	六、二六	六、二六	六、六八	六、三三	六、四三	六、四三	六、二二
六二八	六二二	六二八	六〇三	六〇三	五九〇	五八四	五九三	六〇〇	五六六
七〇〇	六七〇	七〇〇	六八〇	六八〇	六三〇	六三〇	六三〇	七〇〇	六六〇
五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	四〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇
二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
三、一一	三、一六	三、二二	三、一四	三、一四	三、二〇	三、七〇	三、三九	三、二四	三、一六
三、六〇	三、七三	三、七五	三、六一	三、六一	四、二三	五、二四	四、一六	三、九三	三、六四
二、七二	二、七九	二、四七	二、五四	二、五四	二、六〇	二、三九	二、五四	二、六二	二、四五
〇、八九	〇、九三	一、二八	一、〇七	一、〇七	一、五五	二、八〇	一、六二	一、三〇	一、一九
一、五六	〇、七二	一、元	一、〇〇	一、〇〇	一、五五	二、八〇	一、三三	〇、六七	〇、四八

青熟支四號 糸量ハ(四) 0.5 分 區最モ多ク(一) 0.5 分 區最モ少ク標準區ハ中位ニ在リ 絲長ハ(九) 0.5 分 區最モ長ク(六) 0.5 分 區最モ下位ヲ占メ標準區ハ中位以下ニ在リ 青熟原五 糸量ハ(九) 0.5 分 區最モ多ク(一六) 0.5 分 區最モ少ク標準區ハ中以下ニ在リ 絲長ハ(一八) 0.5 分 區最モ長ク(三) 0.5 分 區最モ短シ標準區ハ中位ニ在リ 新昌長 絲量ハ(四三) 0.5 分 區最モ多ク(四四) 0.5 分 區最モ少ク標準區ハ優位ニ在リ 絲長ハ(四) 0.5 分 區最モ長ク標準區最モ短シ 青熟原六 糸量ハ(二六) 1.0 分 區最モ多ク(三) 3.0 分 區最モ少ク標準區ハ三位ニ在リ 絲長ハ(二六) 1.0 分 區

番號	供試品種	試驗區	發生步合	結繭量步合	總收繭量	熟量體量	步一顆ノ絲量	步一顆ノ糸長	平均步合
三	青園蠶支四號	0.5	101.1	101.7	110.2	101.9	101.1	101.9	6
二	青園蠶支四號	30	101.2	101.9	111.1	101.9	101.1	99.4	3
一	青園蠶支四號	4	101.4	101.7	111.3	101.9	101.1	99.4	3
三	青園蠶支四號	8	101.6	101.7	111.9	101.9	101.1	97.5	11

成績順位一覽表

(對標準區100%)

三	青園蠶支四號	25	101.1	101.7	110.2	101.9	101.1	101.9	6
三	青園蠶支四號	5	101.2	101.9	111.1	101.9	101.1	99.4	3
三	青園蠶支四號	15	101.4	101.7	111.3	101.9	101.1	99.4	3
三	青園蠶支四號	4	101.6	101.7	111.9	101.9	101.1	97.5	11

二	青園蠶支四號	1.0	101.1	101.7	110.2	101.9	101.1	101.9	6
二	青園蠶支四號	30	101.2	101.9	111.1	101.9	101.1	99.4	3
二	青園蠶支四號	4	101.4	101.7	111.3	101.9	101.1	99.4	3
二	青園蠶支四號	8	101.6	101.7	111.9	101.9	101.1	97.5	11

一、蠶種ノ發生ハ 0.5 耗 分 10 區最モ良好ニシテ標準區ハ下位ニアリ放射區何レモ良好ナルモ「ミリアンペア」
 巨離時間等ノ間ニ一定ノ傾向ヲ認め難ク放射ト無放射トノ差異極メテ少シ

一、結繭蠶歩合ハ 0.5 耗 分 40 6 區最モ多ク標準區ハ中位ニアリ 0.5 耗 分 30 8 區最モ少シ
 (0.5 耗 分 30 4) (0.5 耗 分 30 6) (0.5 耗 分 40 6) 0.5 耗 分 40 8 區ハ概シテ他區ニ優レリ

一、總收繭歩合ハ 0.5 耗 分 40 6 區最モ多ク標準區ハ中以下ニアリ 0.5 耗 分 30 8 區最モ少シ
 (0.5 耗 分 30 4) (0.5 耗 分 30 6) (0.5 耗 分 40 10) (0.5 耗 分 40 15) 區優良ナリ

一、熟蠶體量歩合ハ 0.5 耗 分 40 12 區最モ重クシテ概シテ標準區ニ比シ優レリ
 一、絲量ハ 0.5 耗 分 30 10 區最モ多ク概シテ標準ニ比シ優レルモ其ノ差顯著ナラス

一、絲長ハ 0.5 耗 分 40 12 區最モ長ク標準區ハ中位以上ヲ占メ 0.5 耗 分 40 6 區最モ短ク放射區ト無放射區ノ差極メテ少シ
 之ヲ要スルニ 0.5 耗 分 40 6 區最モ良好ニシテ 0.5 耗 分 40 15 區之ニ次キ放射區ハ無放射區ニ比シ概シテ優レルモ其ノ差
 極メテ僅ニシテ顯著ナル成績ヲ認めサリキ

新昌長發生ノ前々日放射ノモノ

一、蠶種發生歩合 0.5 耗 分 30 15 區最モ良好ニシテ標準區ハ下位ニアリ 0.5 耗 分 40 8 區最モ少シ
 一、結繭蠶歩合 0.5 耗 分 30 6 區最モ多ク標準區ハ上位ヲ占メ 0.5 耗 分 40 6 區最モ少シ放射區ハ無放射區ニ比シ概シテ

劣レリ

一、總收繭歩合 0.5 耗 分 30 4 區最モ多ク標準區中位ヲ占メ 0.5 耗 分 40 10 區最モ少シ

一、熟蠶體量 0.5 耗 分 30 10 區最モ重ク標準區之ニ次キ概シテ放射區ニ劣リ 0.5 耗 分 30 6 區最モ輕シ

一、絲量 0.5 耗 分 30 10 區最モ多ク 0.5 耗 分 40 10 區標準區順次之ニ次キ 0.5 耗 分 30 15 區最モ少ク概シテ放射區ハ無放射區ニ
 比シ劣レリ

一、絲長 0.5 耗 分 40 6 區及 0.5 耗 分 30 15 區最モ長ク概シテ放射區ハ優リ無放射區最モ短シ

之ヲ要スルニ 0.5 耗 分 30 4 區最モ優位ヲ占メ 0.5 耗 分 40 15 區 0.5 耗 分 40 8 區順次之ニ次キ標準區ハ中位以下ニアリ放射區
 ト無放射區トノ間ニ顯著ナル差ヲ認め難シ

青熟原六發生前日 1.0 耗 分 アンペア以上ノ電流放射ノモノ

一、蠶種發生歩合ハ 0.5 耗 分 25 40 15 區最モ良好ニシテ 3.0 耗 分 40 8 區及 2.5 耗 分 5 5 區之ニ次キ標準區ハ中位以上ヲ占メ
 (イ) 耗 分 25 5 區最モ不良ニシテ「ミリアンペア」ノ強弱ニヨリテ一定ノ傾向ヲ認めサリシ

一、結繭蠶歩合 3.0 耗 分 20 6 區最モ多ク (イ) 耗 分 25 5 區 1.0 耗 分 20 8 區順次之ニ次キ標準區ハ中位以下ニアリ 2.5 耗 分 5 5
 區最モ少ク「ミリアンペア」ノ強弱ニヨリ大ナル差ヲ認メス

一、總收繭量歩合 3.0 耗 分 40 8 區最モ多ク 5.0 耗 分 40 6 區 5.0 耗 分 40 8 區順次之ニ次キ標準區ハ中位以下ニアリ 1.0 耗 分 20 4
 區最モ少ク概シテ放射量ノ増スニ從ヒ口良好ナル傾向アルモ強キニ過クルモノ又不良ナリ

一、熟蠶体量歩合 5.0 耗 分 40 分 6 區最モ重クシテ 1.0 耗 分 20 分 6 區 5.0 耗 分 40 分 6 區順次之ニ次キ放射區ハ無放射區ニ比シ概シテ劣レリ 3.0 耗 分 40 分 6 區最モ輕シ

一、絲量 1.0 耗 分 30 分 8 區最モ多ク 1.0 耗 分 20 分 6 區標準區順次之ニ次キ 3.0 耗 分 40 分 6 區最モ少ク概シテ無放射區ハ放射區ニ劣レリ

一、絲長ハ 1.0 耗 分 30 分 8 區最モ長ク 1.0 耗 分 30 分 4 區 1.0 耗 分 20 分 4 區順次之ニ次キ標準區ハ中位以下ニアリ 3.0 耗 分 20 分 8 區最モ短シ

之レヲ要スルニ 5.0 耗 分 40 分 5 區最モ優位ヲ占メ 1.0 耗 分 30 分 8 區 3.0 耗 分 20 分 6 區順次之ニ次キ標準區ハ二十區中九位ヲ占メ放射區ハ標準區ニ比シ成績良好ナルモノアルモ又劣レルモアリ一定ノ傾向アルヲ認メザリキ

(二) 晩春蠶期成績

發生卵百分率並ニ蟻ノ生命長短比較表

試驗區	發生卵百分率		蟻ノ生命長短	
	對標準區	對模範區	生存日數	對模範區
2.0 耗 分 40 分 3 區	90.0	90.0	9	(十)
1.0 耗 分 40 分 5 區	89.5	89.5	9	(十)
0.5 耗 分 40 分 15 區	88.7	88.7	9	(十)

發生卵歩合ハ標準區最モ多ク (二) 0.5 耗 分 40 分 10 區之レニ次キ (四) 2.0 耗 分 40 分 3 區最モ少シ

各齡經過日數比較表

番號	品供種試	試驗區	齡				
			第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡
一	相模	0.5 耗 分 40 分 10 區	四日	三日	三日	四日	五日
二	"	1.0 耗 分 40 分 5 區	四日	三日	三日	四日	五日
三	"	2.0 耗 分 40 分 3 區	四日	三日	三日	四日	五日
四	"	1.0 耗 分 40 分 5 區	四日	三日	三日	四日	五日

經過日數ハ (三) 1.0 耗 分 40 分 5 區 (四) 2.0 耗 分 40 分 3 區短クシテ標準區 (二) 0.5 耗 分 40 分 10 區ハ前二區ニ比シ稍々長シ

体量調査表

(對百頭)

番號	品種名	試驗區	齡				
			第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡
一	相模	0.5 耗 分 40 分 10 區	一五	一三	九三	四八	二四
二	"	1.0 耗 分 40 分 5 區	一五	一三	九三	四八	二四
三	"	2.0 耗 分 40 分 3 區	一五	一三	九三	四八	二四
四	"	1.0 耗 分 40 分 5 區	一五	一三	九三	四八	二四

熟蠶体量ハ(二) 0.5 耗 40 分 區最モ重ク(三) 1.0 耗 40 分 區之レニ次キ標準區及ヒ(四) 2.0 耗 40 分 區ハ同量ニシテ最モ輕シ

收繭量並ニ結繭蠶歩合 (對蠶量一匁)

番號	品種名	試驗區	總收繭額	普通繭	層繭	同切繭	結繭蠶歩合
一	相模	0.5 耗 40 分 區	七四二、五匁	六九〇、〇匁	五九、五匁	五九、五匁	二〇、〇%
二	"	1.0 耗 40 分 區	八三〇、〇匁	七〇三、〇匁	五九、五匁	五九、五匁	二二、四%
三	"	2.0 耗 40 分 區	五七五、〇匁	四九九、〇匁	五二、〇匁	五二、〇匁	一五、五%
四	"	3.0 耗 40 分 區	五九、五匁	五四、〇匁	二八、五匁	二八、五匁	一六、四%

蠶量一匁ニ對スル收繭量ハ(二) 0.5 耗 40 分 區最モ多ク標準區之レニ次キ(三) 1.0 耗 40 分 區最モ少シ
結繭蠶歩合ハ(二) 0.5 耗 40 分 區最モ多ク標準區ハ之レニ次キ(三) 1.0 耗 40 分 區最モ少シ

收繭歩合並ニ繭質調査表

番號	品種名	試驗區	普通繭	繭歩合	同切繭	普通繭一升	繭層歩合	繭綿歩合
一	相模	0.5 耗 40 分 區	八八、三%	四、七%	七、〇%	九六、八匁	一三、三%	一、二%
二	"	1.0 耗 40 分 區	八六、六%	五、三%	八、一%	九三、四匁	一三、〇%	〇、九%
三	"	2.0 耗 40 分 區	八六、八%	六、一%	七、一%	九五、七匁	一三、五%	一、一%
四	"	3.0 耗 40 分 區	九〇、四%	四、八%	四、八%	九〇、六匁	一三、三%	一、〇%

普通繭歩合ハ(四) 2.0 耗 40 分 區最モ多ク標準區之レニ次キ(二) 0.5 耗 40 分 區最モ少シ
繭層歩合ハ(三) 1.0 耗 40 分 區最モ多ク(四) 2.0 耗 40 分 區之レニ次キ(二) 5.0 耗 40 分 區最モ少シ

一粒繰成績表

(十粒平均)

番號	品種名	試驗區	一粒ノ絲量	平均	最長	最短	開キ	平均	最大	最細	開キ	對四〇〇回
一	相模	0.5 耗 40 分 區	四、五八	六、五	七、〇	五、八	一一〇	二、三	二、五	一、七	〇、七	〇、六
二	"	1.0 耗 40 分 區	五、四八	六、九	六、九	五、八	一一〇	二、三	二、九	一、五	〇、七	〇、六
三	"	2.0 耗 40 分 區	五、三六	五、九	六、〇	五、三	一一〇	二、二	三、〇	一、三	〇、七	〇、七
四	"	3.0 耗 40 分 區	五、一五	五、五	六、〇	五、〇	一一〇	二、五	二、八	一、〇	〇、七	〇、七

一粒ノ絲量ハ(二) 0.5 耗 40 分 區最モ多クシテ(三) 1.0 耗 40 分 區之レニ次キ標準區最モ少シ
絲長ハ標準區最モ長ク(二) 0.5 耗 40 分 區之レニ次キ(四) 2.0 耗 40 分 區最モ短シ

卵調査表

品種	項目	受精卵	不受精卵	均對	卵一合	計	受精卵	不受精卵	死率
相模標準區	0.5 耗 40 分 區	五六六	五六六	三	八	五六九	九八三	〇、五%	〇

2.0 40 3	1.0 40 5	0.5 40 10	標 準 區	試 驗 區	番 號	品 種 名	試 驗 區	發 生 步 合	結 繭 量 步 合	熟 蠶 體 量	對 繭 量 一 匁 總 收 繭 額	普 通 繭 步 合	繭 層 步 合	一 顆 ノ 糸 量	絲 長
2.0 40 3	1.0 40 5	0.5 40 10	標 準 區	試 驗 區	番 號	品 種 名	試 驗 區	發 生 步 合	結 繭 量 步 合	熟 蠶 體 量	對 繭 量 一 匁 總 收 繭 額	普 通 繭 步 合	繭 層 步 合	一 顆 ノ 糸 量	絲 長

成績順位一覽表

四	三	二	一	相	摸										
2.0 40 3	1.0 40 5	0.5 40 10	標 準 區	試 驗 區	番 號	品 種 名	試 驗 區	發 生 步 合	結 繭 量 步 合	熟 蠶 體 量	對 繭 量 一 匁 總 收 繭 額	普 通 繭 步 合	繭 層 步 合	一 顆 ノ 糸 量	絲 長

之ヲ要スルニ本期ハ氣候及桑葉不良ニシテ蠶兒ノ發育良好ナラサリシタメ影響ノ有無ヲ斷定スルコト困難ナルモ概評ヲ下セハ次ノ如シ

一、蠶種ノ發生ハ標準區最モ良好ニシテ放射區何レモ之ニ劣レリ

一、結繭蠶歩合ハ 0.5 標準區最モ多ク標準區之ニ次キ收繭量又之ニ準スルモ普通繭歩合及繭層歩合ハ之ニ反シ標準區優レリ

一、糸量ハ 0.5 標準區最モ多ク糸長ハ標準區最モ長シ

(三) 秋蠶期成績

發生ノ齋否發生卵百分率並ニ蟻ノ生命長短比較表

2.0 40 3	1.0 40 5	0.5 40 10	標 準 區	試 驗 區	番 號	品 種 名	試 驗 區	發 生 日 數	對 標 準 區	發 生 日 數	對 標 準 區	百 分 率	對 標 準 區	百 分 率	對 標 準 區	生 存 日 數	對 標 準 區	生 存 日 數	對 標 準 區
2.0 40 3	1.0 40 5	0.5 40 10	標 準 區	試 驗 區	番 號	品 種 名	試 驗 區	發 生 日 數	對 標 準 區	發 生 日 數	對 標 準 區	百 分 率	對 標 準 區	百 分 率	對 標 準 區	生 存 日 數	對 標 準 區	生 存 日 數	對 標 準 區

各齡經過日數比較表

三	二	一	四	三	二	一	支 一 〇 一 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號
三	二	一	四	三	二	一	支 一 〇 一 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號	支 一 〇 一 號 × 支 四 號

收繭歩合並ニ繭質調査表

番號	品種名	試驗區	普通繭歩合	繭質	繭量	繭數	繭層歩合	繭綿歩合
一	國蠶支一〇一號	標準區	八五、四%	六〇、〇	七〇、〇	一八八	三、四三%	五、一八%
二	"	標準區	八六、〇	六、八二	六九、〇	一八七	三、四〇	八、四四
三	"	標準區	八五、九〇	七、七〇	六九、五	一八〇	三、五六	六、四〇
四	雜交大國蠶支四〇號	標準區	八八、三	六、八七	六八、五	一九〇	三、三七	九、四〇
一	雜交大國蠶支四〇號	標準區	八七、〇	二、九七	八三、〇	一九三	四、四一	四、六四
二	"	標準區	八七、〇	二、三三	八三、〇	一九三	四、二一	四、六四
三	"	標準區	八〇、七〇	四、六五	八八、〇	一九三	四、四〇	四、四三
四	"	標準區	八三、九一	三、四五	八八、〇	一八八	四、四三	四、八一

普通繭歩合ハ國蠶支一〇一號ニアリテハ(二) 0.5 耗 區最モ多ク(三) 1.0 耗 區之ニ次キ(四) 2.0 耗 區最モ少シ

シ 雜交大國蠶支一〇一號ニアリテハ(三) 1.0 耗 區最モ多ク標準區之レニ次キ(四) 2.0 耗 區最モ少シ

繭層歩合ハ國蠶支一〇一號ニアリテハ(三) 1.0 耗 區最モ多ク標準區之ニ次キ(四) 2.0 耗 區最モ少シ

雜交大國蠶支一〇一號ニアリテハ(四) 2.0 耗 區最モ多ク標準區之ニ次キ(二) 0.5 耗 區最モ少シ

一粒繰成績表 (二十粒平均)

番號	品種名	試驗區	平均繰	最長	最短	平均開キ	最大	最細	平均開キ	對四〇〇回
----	-----	-----	-----	----	----	------	----	----	------	-------

番號	品種名	試驗區	平均繰	最長	最短	平均開キ	最大	最細	平均開キ	對四〇〇回
一	國蠶支一〇一號	標準區	二、六四	四、四四	三、〇〇	二、二〇	二、五二	一、三三	二、一八	〇、一九
二	"	標準區	三、一四	四、四九	三、〇〇	二、一五	二、七	一、七	一、〇八	〇、四〇
三	"	標準區	三、〇四	四、五〇	三、〇〇	二、四四	二、九	一、四	〇、九	〇、四四
四	雜交大國蠶支四〇號	標準區	二、八二	四、六四	三、〇〇	二、〇四	二、六	一、五	〇、九	〇、七二
一	雜交大國蠶支四〇號	標準區	四、七二	六、三	四、八〇	二、三二	二、六	一、四	一、六七	〇、〇九
二	"	標準區	五、四〇	六、〇	四、〇〇	二、三二	二、〇	一、三	一、三	〇、二〇
三	"	標準區	四、五五	五、六五	四、〇〇	二、四五	三、一〇	一、六	一、五	〇、〇七
四	"	標準區	四、九二	五、九	四、〇〇	二、五六	三、八	一、七	二、一四	〇、四三

秋蠶X光線放射試驗產卵調査表

品種名	項目	受精卵	十	蛾	平	均	死	對	卵	一	合	蛾	計	受精卵	百	分	不受精卵	死	率	卵
-----	----	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	------	---	---	---

國蠶支一〇號	標準區	0.5	1.0	2.0
〃	〃	40	40	40
〃	〃	16分	5	3

四五	四六	四六	四六
二	三	七	二
〇	〇	〇	〇
四五七	四四九	四七三	四四六
九九六	九九三	九八五	九九五
〇	〇	一	〇
〇	〇	〇	〇

成績順位一覽表

番號	品 種 名	試 驗 區	發 生 步 合	結 菌 蠶 步 合	熟 蠶 體 量	對 蛾 一 匁 收 割 額	普 通 繭 步 合	繭 層 步 合	一 顆 ノ 絲 量	絲 長
一	國蠶支一〇一號	標準區	二	一	三	四	三	二	四	四
二	〃	〃	三	二	四	三	一	三	一	三
三	〃	〃	四	一	三	二	二	一	二	二
四	〃	〃	一	三	二	一	四	四	三	一
一	雜交國蠶支三號	標準區	一	二	三	四	二	一	三	二
二	雜交國蠶支四號	〃	二	一	四	三	一	二	二	一
三	〃	〃	三	二	三	二	三	四	一	四
四	〃	〃	四	一	二	一	四	一	二	三

- 一、發生步合ハ國蠶支一〇一號 雜交支一〇一號×支四號 共ニ標準區概シテ他區ニ優レリ
- 二、結菌蠶步合ハ標準區他區ニ比シ優レリ
- 三、繭層步合ニ於テハ國蠶支一〇一號ハ 雜交支一〇一號×支四號 トノ間ニ一定ノ傾向ナシ

四、絲量ハ兩種共ニ 0.5—40—10 區最モ優レリ
 春蠶以降三回ニ亘リタル試驗ノ結果以上ノ如クニシテ「レントゲル」放射ノ成績著顯ナリト云ヒ難シ優劣ヲ決定
 センニハ更ニ放射ノ時期、放射量等ニ就キ尙一層ノ研究ヲ要スベシ

(水) 生種ト黑種トノ比較試驗

本試驗ノ目的ハ同一品種ヲ生種ト黑種トニ分チ製造シタルモノヲ夏蠶及秋蠶期ニ於テ同一狀態ノ下ニ飼育シ蟲
 質ノ強弱及繭質ノ優劣ヲ知ラントスルニアリ

第一、夏蠶期ニ於ケル比較

一、供試品種

- (イ) 黑種 大正八年九月一日日本所ニ於テ採種シタルニ化性大草ナリ
- (ロ) 生種 大正九年六月二十五日日本所ニ於テ採種シタルニ化性大草ナリ

二、供試材料保護

- (イ) 黑種ハ大正八年九月一日採種後本所蠶室内ニ保護シ置キ大正九年二月十八日日本縣平塚町平塚冷蔵氷
 庫ニ委託冷蔵シ全年六月廿四日午後出庫催青セリ
- (ロ) 生種ハ其ノ原種ヲ大正八年九月二日採種シ本所蠶室内ニ保護シ大正九年二月十八日日本縣平塚町平塚
 冷蔵氷庫ニ委託冷蔵シ大正九年四月十九日出庫天然溫度ヲ以テ窮埋催青ヲ行ヘリ其ノ溫度次ノ如シ

生種原種催青中溫濕度表

月	日	最 室 高 內 最 低 溫 平 度 均	最 室 高 內 最 低 濕 平 度 均
---	---	---------------------	---------------------

月日	八月三日	八月四日	八月五日	八月六日	八月七日	八月八日	八月九日	八月十日	八月十一日	八月十二日	八月十三日	八月十四日	八月十五日	八月十六日	八月十七日	八月十八日	八月十九日	八月二十日	八月二十一日	八月二十二日	八月二十三日	八月二十四日	八月二十五日	八月二十六日	八月二十七日	八月二十八日	八月二十九日	八月三十日
最高室外温度	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5
最低室外温度	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5
平均室外温度	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5
最高室内温度	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5
最低室内温度	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5
平均室内温度	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5
最高室内湿度	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8
最低室内湿度	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8
平均室内湿度	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8
備考																												

八七

四、飼育成績

掃立ヨリ取蘭日迄の温湿度表

三、掃立蠶數

掃立ノ方法及掃立蠶數調査方法ハ夏蠶期ニ於ケル比較試験ト同様ナリ

生種	黒種
種	種
三六	三九

生種平均	黒種平均	最低	最高	八月一日	八月二日	八月三日	八月四日	八月五日	八月六日	八月七日	八月八日	八月九日	八月十日	八月十一日	八月十二日	八月十三日	八月十四日	八月十五日	八月十六日	八月十七日	八月十八日	八月十九日	八月二十日	八月二十一日	八月二十二日	八月二十三日	八月二十四日	八月二十五日	八月二十六日	八月二十七日	八月二十八日	八月二十九日	八月三十日
28.5	28.5	24.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5	28.5		
24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5		
26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5		
88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8		
78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8	78.8		
83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8		
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4	90.4		
生種孵化終リ	黒種孵化終リ																																

八六

普通繭歩合ハ生黒何レモ大差ナキモ繭層歩合ハ生種ニ多シ普通繭一升ノ顆數ハ生種ニ少シ

(平均)

一粒綠成績表

種別	目次	絲量				繭				類節切斷
		一顆ノ	平均	最長	最短	平均	最大	細開	度	
大草生種	四〇三	四九六	六〇〇	二五〇	二五元D	三三〇D	一八四D	一、三	〇、九二	
大草黒種	三、八二	五九九	六〇〇	三六〇	二二七	二〇六	一、七	一、三	〇、七	

一顆ノ絲量ハ生種ニ多ク絲長ハ黒種ニ長シ

成績一覽表

種別	目次	飼育	對蠶千頭	對桑百貫	對蠶千頭	對桑百貫	絲	顆	ノ	長
太草生種	一	易	二	二	二	二	二	二	二	二
大草黒種	二	難	二	二	二	二	二	二	二	二

秋蠶期ニ於ケル比較成績ハ收購量及絲量等ニ於テ生種ハ黒種ニ比シ概シテ優レリ

總括

以上夏蠶及秋蠶ニ於ケル黒種ト生種トノ比較試驗ヲ綜合概括スレハ次ノ如シ

- 一、夏蠶ニ於テハ黒種ハ飼育容易ニシテ經過速ニ收購量及絲量多シ然レ共生種ハ繭色良好ニシテ繭形大ナリ
- 一、秋蠶ニ於テハ夏蠶ト相反シ生種ノ方飼育容易ニシテ收購量及絲量多ク繭形稍大ナリ

ホ 晩秋期採種法試驗

(豫報)

一、試驗ノ目的 近時遺傳學ノ進歩ニ伴ヒ秋蠶ノ一代雜種、三元雜種等ノ製造盛ントナリタル爲、之ガ製造上其發蛾調節ニ多大ノ苦心ヲ拂ヒツ、アルモ尙且ツ豫定ノ蠶種ヲ製造シ能ハザルコト往々アリ、之ガ補給ヲ晩秋期採種ニ依ラントスルモ既往ノ實績ハ年ニヨリ發生ノ良否ニ甚ダシキ懸隔ヲ見ル爲メニ思ハザル損失ヲ蒙ルコト屢々アルヲ以テ之ガ原因ヲ探究シ因テ晩秋期採種セルモノ、發生ヲ可良ナラシメントスルニアリ

一、試驗ノ概要 本試驗ハ數ヶ年繼續ノ豫定ニシテ第一年目試驗トシテ大正七年秋蠶期採種ニ係ルニ化性大草ヲ試驗ニ供用シ大正八年九月五日掃立ヲ行ヒ九月二十八、九兩日大部分上簇ヲ終リ十月十九日ヨリ同月二十五日ニ亘リ採種セリ。此ノ間試驗區ヲ設ケタルハ

- 1 催青ニ關スル試驗 二 區
- 2 飼料ニ關スル試驗 六 區
- 3 種繭保護ニ關スル試驗 十一 區
- 4 産卵後ノ保護ニ關スル試驗 六 區
- 5 蠶種冷蔵時期ニ關スル試驗 四 區

等二十九區ニ分チ各區可成蛾十以上採種スルコトコカメ、多キハ一區四、五十蛾ニ就キ試驗ヲ行ヒ蠶種ハ卵面消毒ノ後大正九年二月十八日平塚冷蔵氷庫ノ内庫ニ貯藏シ置キ普通秋蠶期ヨリモ稍晚ク同年八月三日一齊ニ出庫シ其ノ後ハ當時ノ天然温濕度ニ依リ催青セリ。同月十一日少量ノ走り蠶ヲ見、進ミタル一、二區ハ約二割發生セリ。翌十二日大部分ノ發生ヲ見タルヲ以テ發生ノ齊否ヲ調査シ、全部發生ノ終リタル後、發生歩合ノ調査ヲ行ヒタル結果大要左ノ如シ

第一 催青法トノ關係

八月下旬蠶種出庫當時ハ夜間冷涼ナリシモ晝間ハ猶八十度ヲ越エ以テ晝間地下室ニ移シ夜間降溫後蠶室ニテ保護ヲナシ催青溫度ヲ可成七十五度前後ニ保チタルモノト當時ノ天然濕度ニ放置シ孵化ニ至ラシメタルモノトヲ比較セバ次ノ如シ

區別項目	發生率		不發生率		最多發生當日ノ發生齊否
	發生	不發生	發生	不發生	
天然溫度催青區	五七、七%	三〇、七%	三〇、七%	二、八%	兩區間ニ大ナル差異ヲ認メザリキ
溫度七十五度催青區	三〇、七%	六九、三%	三〇、七%	二、八%	〃

以上ノ成績ニ依レハ催青溫度ヲ調節セルモノハ發生歩合稍良好ニシテ且ツ不受精卵少キガ如シ

第二 飼料トノ關係

第二齡停食マテハ各齡適當ナリト認メタル桑葉ヲ給與シ第三齡以降左ノ六區ニ別チタリ

- (1) 硬葉區 常ニ稍硬化セル桑葉ヲ給シ殊ニ第五齡期ニ至リテハ甚タシク粗硬ナルモノヲ給與セリ
- (2) 軟葉區 終始稍柔軟ナル桑葉ヲ給シ第五齡ニ至ルモ稍頭ノ軟葉ヲ給與セリ
- (3) 立通桑區 大正八年ニ於テ春刈、夏刈共ニ行ハザル立通十文字ヲ給與セリ
- (4) 魯桑區 秋蠶專用ニ仕立タル魯桑ノ同期ニ採取セル殘餘ヲ給與セリ
- (5) 無風害桑區 九月九日及同月十五日ノ二回ニ亘リ暴風アリ、爲メニ一般桑葉ハ著シク劣變セルヲ以テ秋季暴風ノ害ヲ蒙ラサリシ甘樂桑ヲ給與セリ
- (6) 追肥桑區 八月下旬追肥トシテ智利硝石ヲ施シタル十文字桑ヲ給與セリ

以上各區ノ成績ヲ比較スレハ次ノ如シ

區別項目	無風害區		各區產卵歩合		發生率		不發生率	
	百トシタル	單位	發生	不發生	發生	不發生	發生	不發生
硬葉區	一〇三、五	五	六〇、二	一七、七	一、八	一、八	一、八	一、八
軟葉區	一〇八、三	四	七二、〇	二〇、九	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇
立通桑區	一一三、二	二	七〇、七	二〇、七	一、六	一、六	一、六	一、六
魯桑區	一一〇、二	三	六〇、一〇	一六、七	三、三	三、三	三、三	三、三
無風害區	一〇〇、〇	六	七五、六	二二、五	三、三	三、三	三、三	三、三
追肥桑區	一二七、二	一	七〇、六	三三、六	三、三	三、三	三、三	三、三

即チ產卵量ニ於テハ追肥桑最モ多ク立通區魯桑區之ニ次ギ硬葉區無風害區最モ少カリキ。發生歩合ニアリテハ硬葉區最モ良好ニシテ魯桑區追肥桑區之ニ次ギ軟葉區及立通桑區最モ不良ナリ

第三 種繭保護中ノ濕度トノ關係

上簇後七日ヨリ左ノ五區ニ分チ種繭ノ保護ヲナセル結果左ノ如シ

區別項目	最高		最低		平均		濕度		發生率		最多發生當日ノ發生齊否
	最高	最低	最高	最低	最高	最低	發生	不發生	發生	不發生	
天然ノ濕度ニ放置セルモノ	七三	五七	六八	四九	七〇	五八	七、七%	二四、五%	三、七%	三、七%	發生最モ不齊ナリ
溫度及湿度ヲ調節セシモノ	八〇	五七	七三	五七	七四	六八	七、九%	一五、九%	二、八%	二、八%	發生最モ齊一ナリ
催青器ニテ濕氣ヲ補給セシモノ	七三	五七	七三	五七	七三	六八	八、〇%	一五、八%	三、〇%	三、〇%	發生稍齊一ナリ
生石灰ヲ用ヒ過乾ヲ保テルモノ	七三	五七	七三	五七	七三	六八	八、〇%	一五、八%	三、〇%	三、〇%	發生不齊ナリ
濕氣ヲ飽和度ニ保テルモノ	七三	五七	七三	五七	七三	六八	八、〇%	一五、八%	三、〇%	三、〇%	〃

以上ノ成績ニ依リ見レバ種繭保護中補温ヲ行ヒ且ツ溫度ヲ調節セルモノハ發生頗ル良好ナリ。之ニ反シ當時ノ天然濕度ニ放置ノ溫度ノ激變ヲ與ヘタルモノハ發生不良ナリキ。而シテ濕度ハ溫度ノ如ク重要ナル關係ヲ及

ホサバルモノ、如シ。過乾ニ保テルモノト過濕ニ保護セルモノトノ間ニアリテハ過濕區不良ナル成績ヲ示セリ

第四 蠶卵後ノ温濕度トノ關係

産卵後ノ保護ニヨリ翌年ノ發生歩合ニ及ホス影響ヲ知ランガ爲メ六區ニ別チ試験セル結果左ノ如シ

最別項目	最高温			最低温			平均温			發生歩合			最多發生當日ノ發生有否
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	發生	不發生	不受精	發生	不發生	不受精	
天然温濕度ニ放置セルモノ	七、七	四、二	五、八	七、七	四、二	五、八	八、三	六、七	三、六	三、六	三、六	三、六	最モ不齊ナリ
産卵後三日間補温補濕セルモノ	七、七	四、二	五、八	七、七	四、二	五、八	八、三	六、七	三、六	三、六	三、六	三、六	最モ不齊ナリ
産卵後十日間補温補濕セルモノ	七、七	四、二	五、八	七、七	四、二	五、八	八、三	六、七	三、六	三、六	三、六	三、六	最モ不齊ナリ
産卵後一ヶ月間補温補濕セルモノ	七、七	四、二	五、八	七、七	四、二	五、八	八、三	六、七	三、六	三、六	三、六	三、六	最モ不齊ナリ
産卵後過乾ニ保護セルモノ	七、七	四、二	五、八	七、七	四、二	五、八	八、三	六、七	三、六	三、六	三、六	三、六	最モ不齊ナリ
産卵後過濕ニ保護セルモノ	七、七	四、二	五、八	七、七	四、二	五、八	八、三	六、七	三、六	三、六	三、六	三、六	最モ不齊ナリ

以上ノ成績ニ依レハ産卵後ノ保護温度ト翌年ノ發生歩合トハ重要ナル關係ヲ有スルモノノ如ク殊ニ産卵後其ノ品種固有ノ卵色ヲ現ハスニ至ル三日間ノ保護如何ハ發生ノ良否ヲ決定スヘキモノ、如シ湿度ハ温度ノ如ク大ナル影響ナク過乾ニ保護セルモノハ過濕ニ保護セルモノトノ間ニアリテハ過濕區不良ナル成績ヲ示セリ

第五 蠶種冷蔵時期トノ關係

更ニ蠶種冷蔵時期ト發生ノ良否トノ關係ヲ知ランガ爲メ左ノ四期ニ分チ平塚冷蔵庫内庫ニ保護シ大正九年八月三日一齊ニ出庫催青セル結果次ノ如シ

區別項目	最高温			最低温			平均温			發生歩合			最多發生當日ノ發生有否
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	發生	不發生	不受精	發生	不發生	不受精	
二月十八日入庫セルモノ	四、二	三、三	三、八	四、二	三、三	三、八	七、九	一、九	一、八	一、八	一、八	一、八	〇、五
二月二十八日入庫セルモノ	四、二	三、三	三、八	四、二	三、三	三、八	七、九	一、九	一、八	一、八	一、八	一、八	〇、五
三月九日入庫セルモノ	四、二	三、三	三、八	四、二	三、三	三、八	七、九	一、九	一、八	一、八	一、八	一、八	〇、五
三月二十日入庫セルモノ	四、二	三、三	三、八	四、二	三、三	三、八	七、九	一、九	一、八	一、八	一、八	一、八	〇、五

以上ノ成績ニ依レハ三月二十日入庫ノモノ最優位ニアリ。二月十八日入庫之ニ次キ二月二十八日入庫ノモノ最モ不良ニシテ入庫ノ早晚ニヨリ一定ノ傾向認め難キモ冷蔵前ノ保護適當ナル場合ハ入庫晚キニ從ヒ發生良好ナルモノ、如シ

第六 總括

以上各項ノ試験成績ヲ概論セバ左ノ如シ

- 一、催青法トノ關係 催青當時ノ天候不良ニシテ晝夜温濕度高低ノ差甚タシキ場合ハ之カ調節ヲ行フ可トス
- 二、飼料トノ關係 晩秋期採種用蠶兒ニ給與スヘキ桑樹ハ特ニ肥培ヲ懇切ニシ秋期ニ於テ既ニ収葉シタル桑園ニ對シテハ豫メ速効性肥料ヲ施シ以テ營養ノ充實セル桑園ヲ與ヘルコトニ留意スヘキナリ。而シテ常ニ軟葉ヲ給セハ蠶兒肥大シ産卵數多シト雖モ翌年ニ至リ發生歩合極メテ不良ナルモノナレハ壯蠶期ニアリテハ充分發育セル桑葉ヲ摘採給與スルニ努ムヘシ。然レ共餘リニ硬化セル桑葉ヲ與フル時ハ發生歩合良好ナルモ産卵量少ナク産着モ亦不良ナルモノナリ
- 三、種繭保護トノ關係 上簇後低温ナル場合ニハ火力ヲ用ヒテ補温シ且ツ濕氣ノ補給ニ力ヲ用フヘシ。之レ前表ニ見ルカ如ク種繭ノ保護温度ト翌年ノ發生トハ重要ナル關係ヲ有スルガ爲ナリ。而シテ晩秋期ニアリテハ往々過乾ニ陥リ爲ニ卵ノ産着及産列ヲ不良ナラシムルモノナレハ相當ニ補濕スルヲ要スト雖モ之カ爲過濕ノ弊ヲ陷ハ過乾ナルモノヨリモ一層害多キモノナレハ充分注意スヘシ

國蠶支一〇一號	全日一〇六號	全日一〇七號	全支二〇二號	全支四號	全支八號	相模	富	與
八、二	八、二	八、二	七、七	七、七	七、七	七、七	七、七	七、七
二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
八、三	八、三	八、三	七、六	七、六	七、六	七、六	七、六	七、六
一七、七	一七、七	一七、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七
八、九	八、九	八、九	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七
九	九	九	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
六、一七	六、一七	六、一七	四、一七	四、一七	四、一七	四、一七	四、一七	四、一七
一六	一六	一六	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇
四、一五	四、一五	四、一五	四、一七	四、一七	四、一七	四、一七	四、一七	四、一七
四、九	四、九	四、九	六、四	六、四	六、四	六、四	六、四	六、四
二、〇	二、〇	二、〇	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三
五、七	五、七	五、七	六、二	六、二	六、二	六、二	六、二	六、二
四、三	四、三	四、三	五、五	五、五	五、五	五、五	五、五	五、五
五、九	五、九	五、九	六、三	六、三	六、三	六、三	六、三	六、三
二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇

右表ハ國蠶系品種ニアリテハ蠶業試驗場前橋支所其他ノ品種ハ本所ニ於ケル三ヶ年ノ平均ナリ〇(但シ國蠶系ノ上繭百顆重量繭層量及繭層歩合ハ熊本支場ノ調査ニヨル)。

二 桑園ニ關スル試驗

試驗桑園ハ藤澤町字本入本所第三桑園ニ設置ス、土質ハ火山灰土ニシテ供試品種ハ黒春日ナリ、大正八年度栽植セルモノナレバ未ダ成績詳カナラス今其概要ヲ舉グレバ左ノ如シ

イ 三要素適量試驗 (三段歩)

供試ノ土質ニ於ケル肥料三要素及石灰ノ最モ適當ナル配合率ヲ知ラントスルニアリ

ロ 輪採法試驗 (二段歩)

栽培法同一ナル桑樹ニ付其收穫法ヲ異ニシタル輪採法ト普通收穫法トヲ比較調査シ其得失ヲ知ラントス

ハ 株數並ニ施肥量試驗 (三段歩)

供試ノ土質ニ於テ反當施肥量及植付本數ヲ異ニシタル各區ニ付收穫量ノ多寡ヲ調査シ以テ反當施肥量及植付本數ノ適量ヲ知ラントス

ニ 窒素肥効率試驗 (一段歩)

供試ノ土質ニ於テ各種ノ窒素質肥料ヲ桑樹ニ施用シ其肥効率ヲ比較調査セントス

ホ 肥料成分ノ繭質蠶卵並ニ次代蠶兒ニ及ホス關係試驗 (一段歩)

桑樹ノ肥料タル窒素磷酸加里並ニ石灰ヲ單用又ハ加用シ其桑葉ヲ以テ蠶兒ヲ飼育シタル場合ニ繭質並ニ次代蠶兒ニ如何ナル影響アルヤヲ知ラントス

第七 蠶業講習 (大正九年度)

蠶業講習規則ニ基キ縣下ヨリ二十一名ノ講習生ヲ募集シ一月ヨリ十二月ニ至ル一ヶ年間及見習生三名ヲ四月ヨリ九月ニ至ル六ヶ月間養蠶ニ關スル講習ヲ行ヒタリ其修了生氏名左ノ如シ

高座郡田名村	篠崎一	足柄上郡上中村	夏莉辰五郎
中郡南秦野村	露木唯吉	中郡比々多村	長嶋
津久井郡千木良村	青木勝	都筑郡田奈村	鈴木恒博
中郡高座屋村	森屋俊司	愛甲郡小鮎村	森住慶市
足柄上郡寄村	小宮茂治	愛甲郡萩野村	高橋秀雄
足柄上郡川村	武藤武	高座郡大澤村	大貫紋造

1421
3601

大正十年十二月十五日印刷
大正十年十二月二十日發行

神奈川県高座郡藤澤町

神奈川縣立原蠶種製造所

印刷人 横濱市萬代町一丁目二十九番地 神 戶 秀 昌
印刷所 横濱市萬代町一丁目二十九番地 神 戶 印 刷 社
電話長者町二〇〇五番

四、來觀人員

計	管 管		員
	外 國	人 外 內	
			數
			三〇、二六二
			一五五
			二五
			三〇、四四二

終